

2024年3月期
第1四半期 決算説明会

2023年8月8日

免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社(以下「SBG」)及びその子会社(以下SBGと併せて「当社」)並びに関連会社(以下当社と併せて「当社グループ」)に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

また、本資料は、Arm Limitedが発行する証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘を構成するものではありません。あらゆる証券の購入または応募の申込み、またはその勧誘は、1933年米国証券法(改正法も含む)およびその他の適用証券取引関連法令に従い登録制に基づき行われます。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド(下記で別途定義)並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」(https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor)をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されていることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。

本資料に記載されている当社グループ以外の企業(SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。)に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR(米国預託証券)に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR(以下「ADR」)の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法(以下「証券取引所法」)で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRIに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited(以下「SBGA」)、SB Investment Advisers (UK) Limited(以下「SBIA」)及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社(以下併せて「SBファンド運用会社」)により運用されるいずれかのファンド(文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」)のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」)、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」)及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC(文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」)を含みます。

SBファンド(ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む)、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるとかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因(例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。)に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現額の見積りは、常に変化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

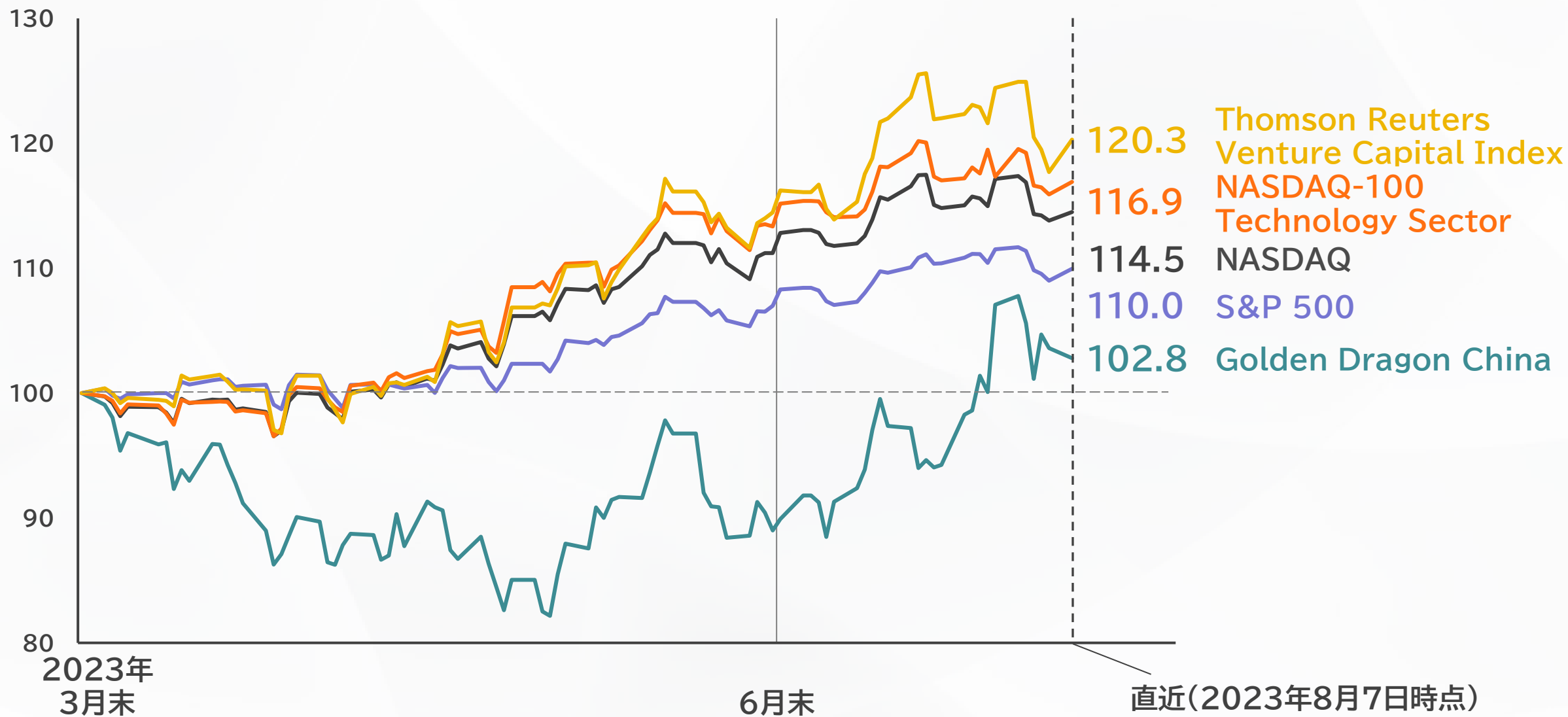
本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

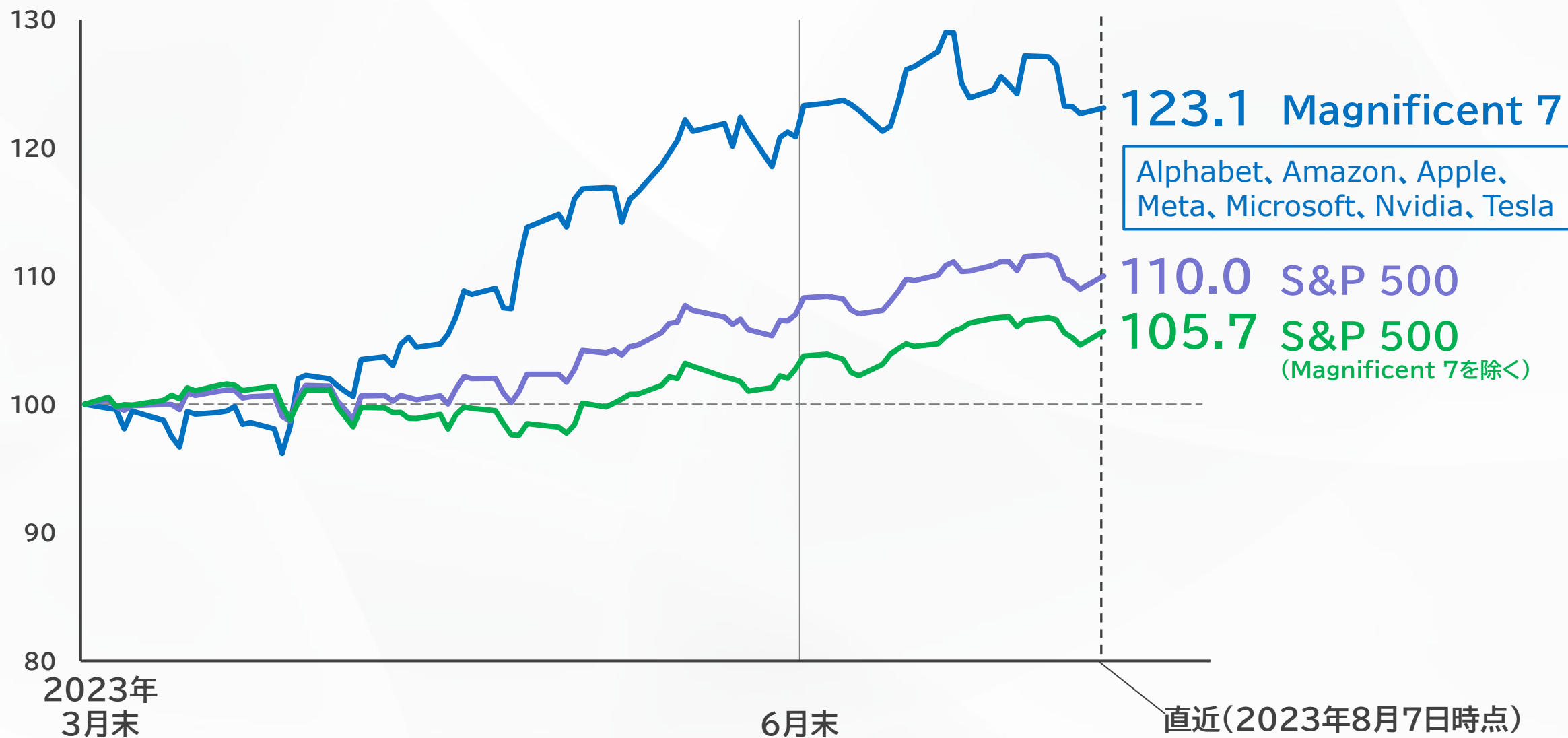
A perspective view of a long, arched stone tunnel. The walls and ceiling are constructed from large, rectangular stone blocks, creating a rhythmic pattern of light and shadow. The floor is dark, with two parallel lines suggesting a path or tracks leading towards a bright, glowing light at the far end of the tunnel. The overall atmosphere is one of depth and mystery.

変化の兆し

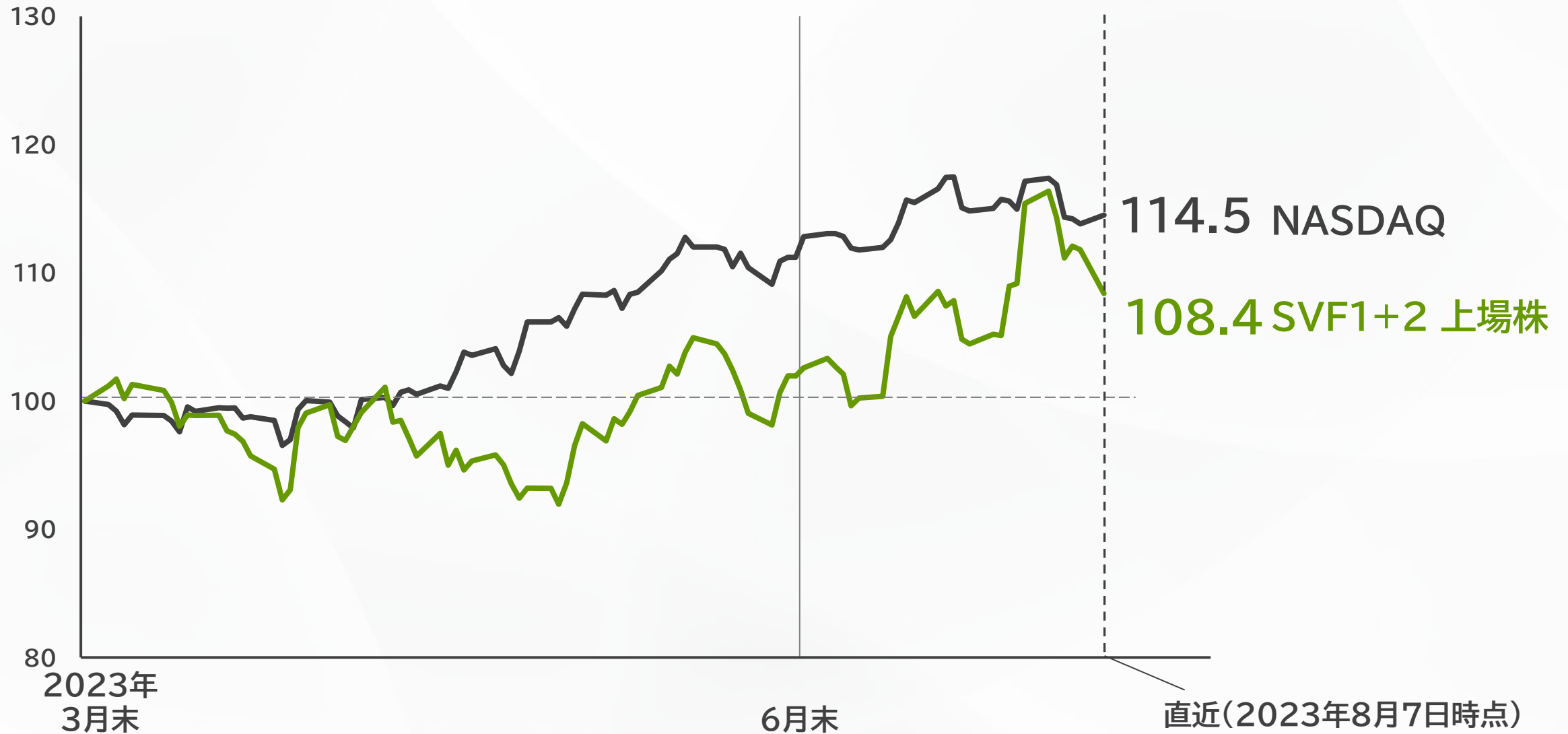
株式市場動向



株式市場動向：“Magnificent 7”



市場動向 SVF1+2の上場株の動き

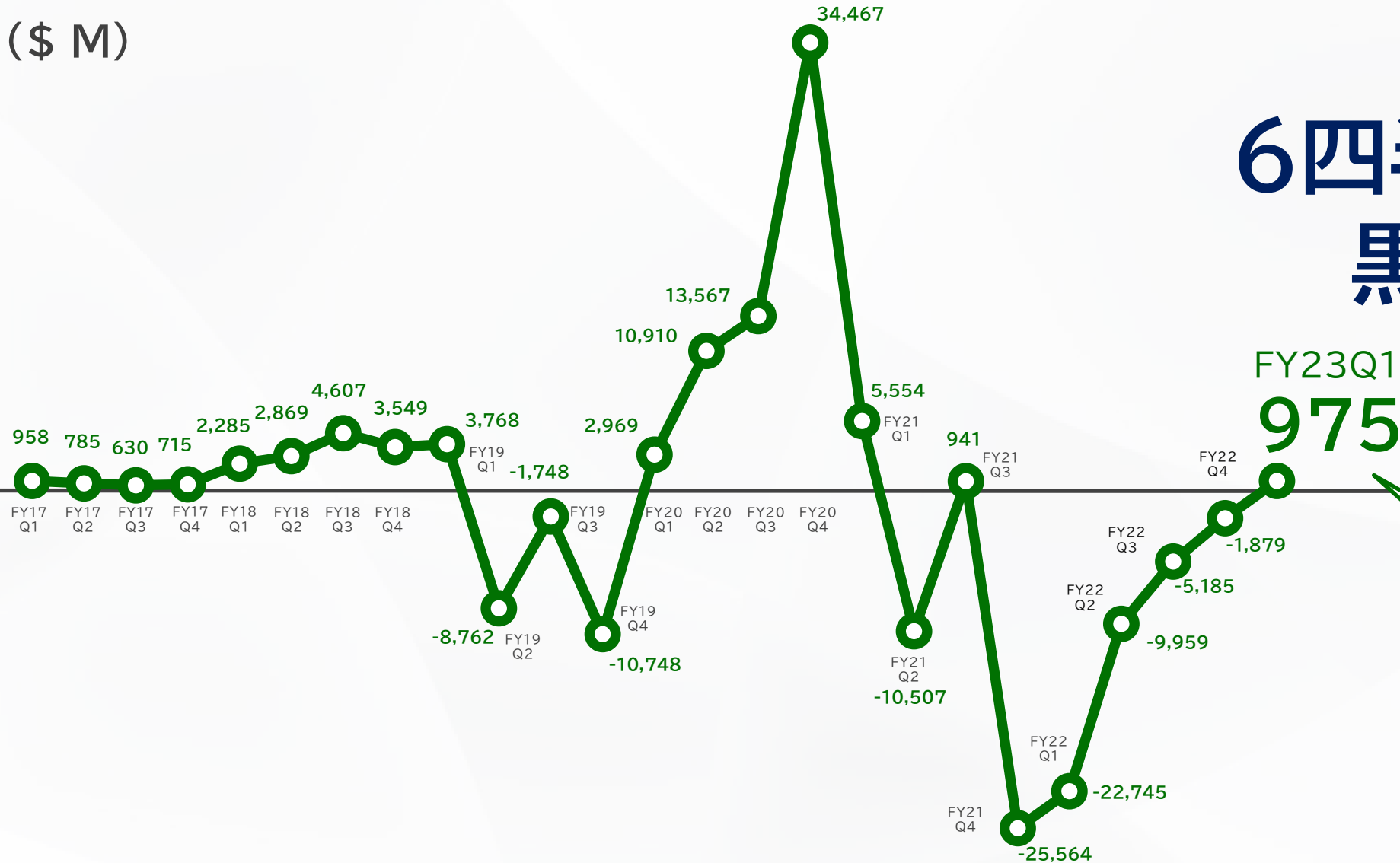


市場動向:NASDAQおよびSVF1+2の上場株の2023年3月末数値を100として指数化。Bloombergを基に当社作成
SVF1+2 上場株: SVF1およびSVF2の2023年3月末時点の上場投資先の保有株式数に日次の株価を乗じて算出した保有株式価値の合計を指数化して算出。為替レートは日次の終値を使用。店頭市場で取引されている投資先(DiDi, Zhangmen, Pear Therapeutics)を含む。
2023年4月1日以降の売却は未考慮。2023年4月1日以降に上場した投資先(Beisen, Keep)を除く。2023年4月1日以降に上場廃止した投資先(Qualtrics, Berkshire Grey)を含む。

SVF: 投資損益 (四半期)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

(\$ M)



6四半期ぶりに 黒字転換

当社子会社(主にArm)
への投資に係る
投資利益を含む
(連結ベースでは消去)

SVF: 投資損益 (累計)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

(\$ M)



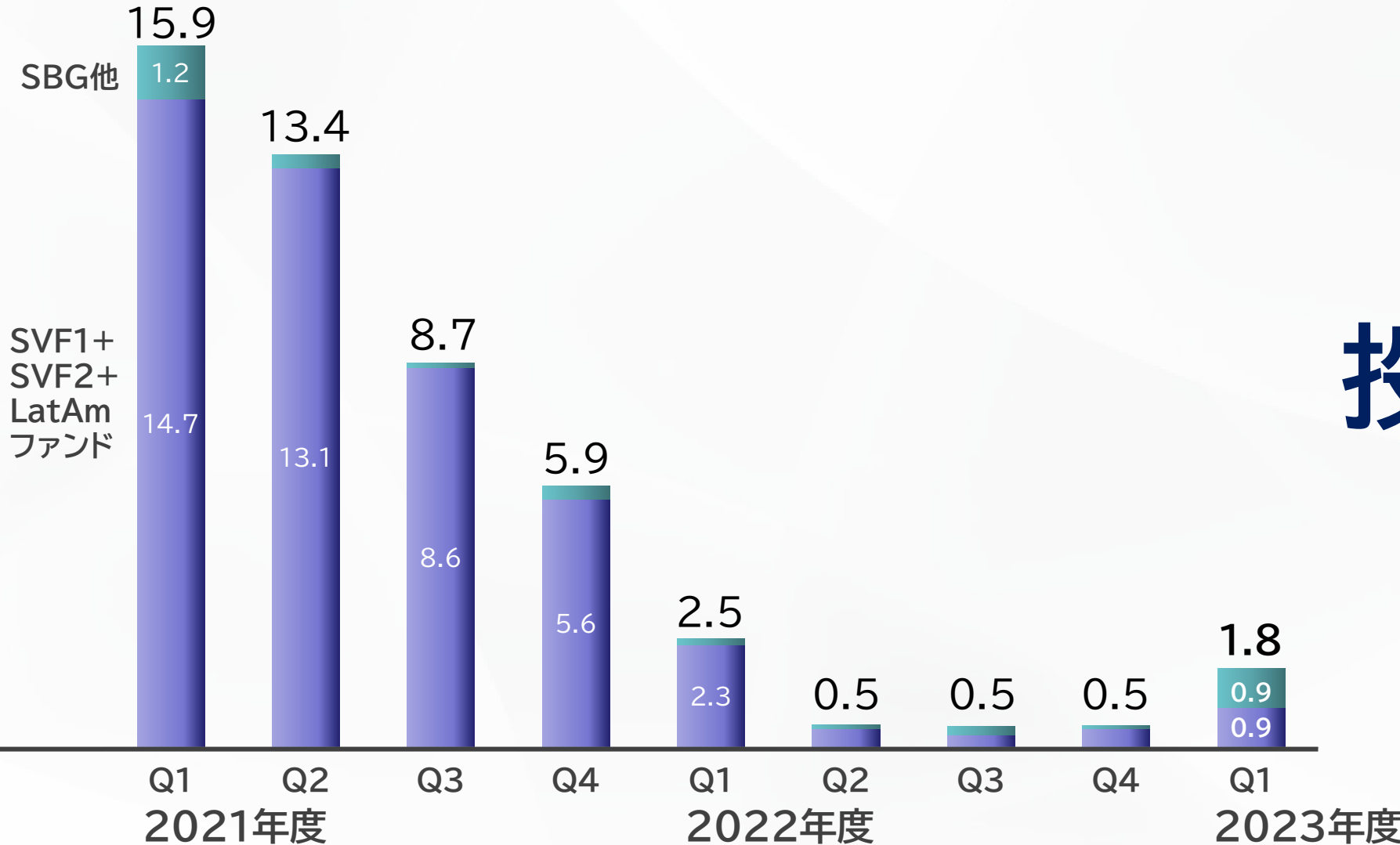
6四半期ぶりに
反転

FY23Q1
-7,548

投資損益(累計):SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益の2017年度Q1からの累計上額
(当社連結財務諸表の作成における為替換算前、デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)

投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド+SBG他)

(\$ B)



投資再開へ

SBG他投資額: SBGおよび主な100%子会社からの投資額
 SVF投資額: 新規および既存投資先への追加投資の合計。株式交換を含む。SBGからSVFへの移管に伴う投資額を除く。

株主総会事業戦略プレゼンより

＝ SoftBank
Group

反転攻勢へ

連結業績

連結業績

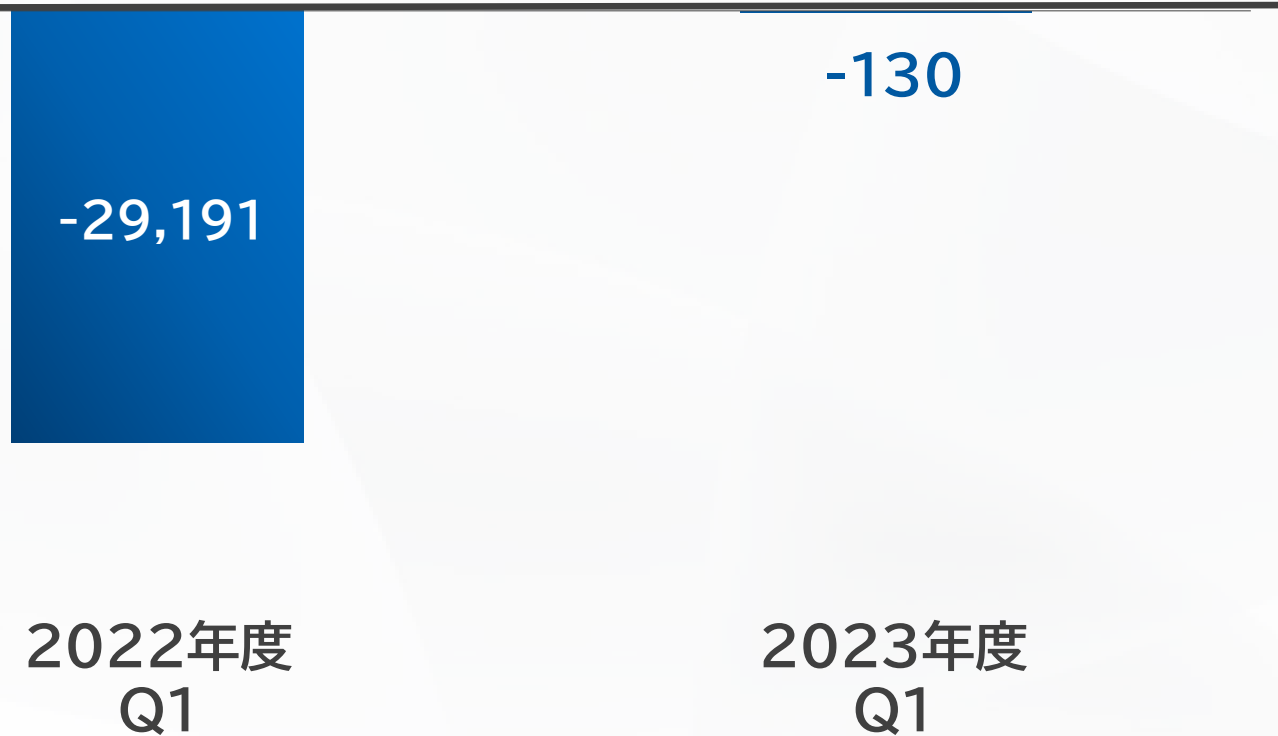
(億円)

	2022年度 Q1	2023年度 Q1	増減額
売上高	15,720	15,575	-145
投資損益	-28,344	-6,990	+21,355
税引前利益	-32,925	-1,762	+31,163
純利益	-31,627	-4,776	+26,851

投資損益

(億円)

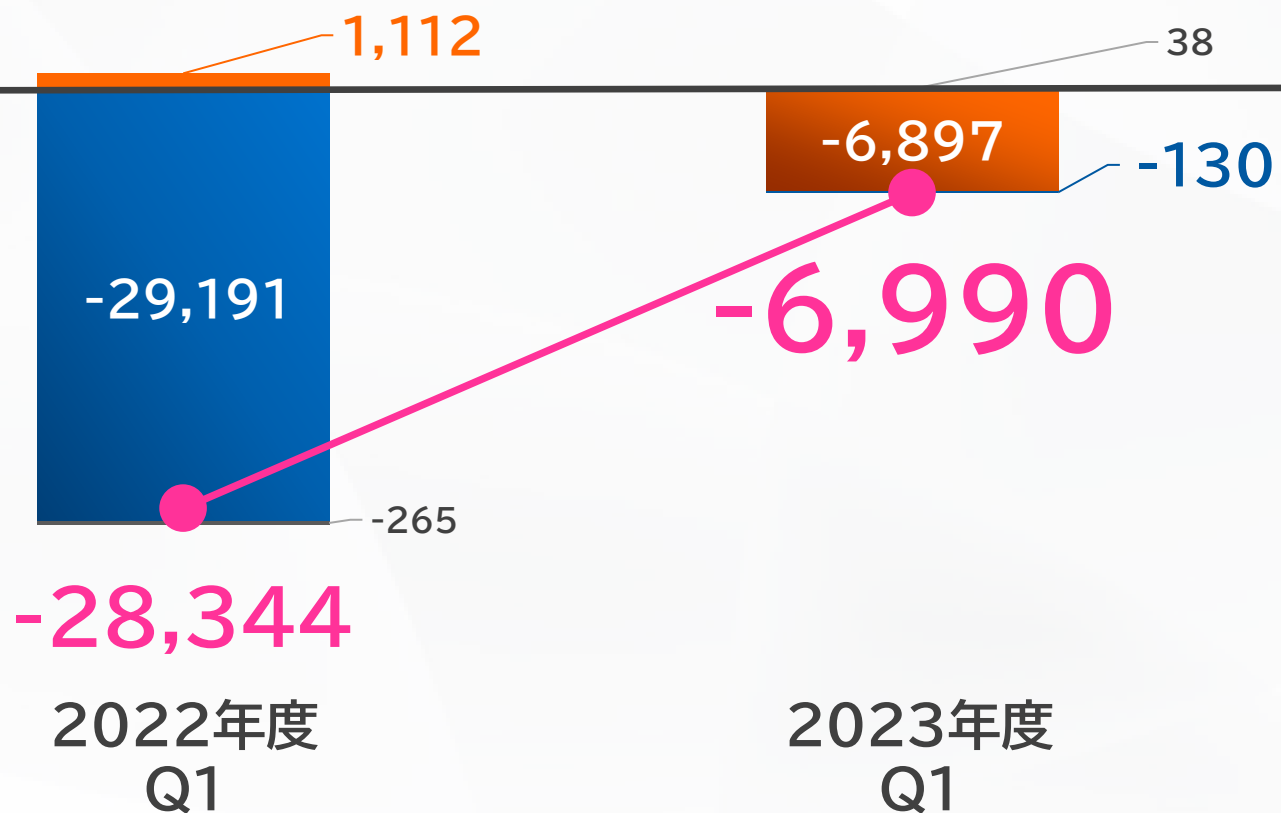
■ SVF事業



SVF投資 大幅改善

投資損益

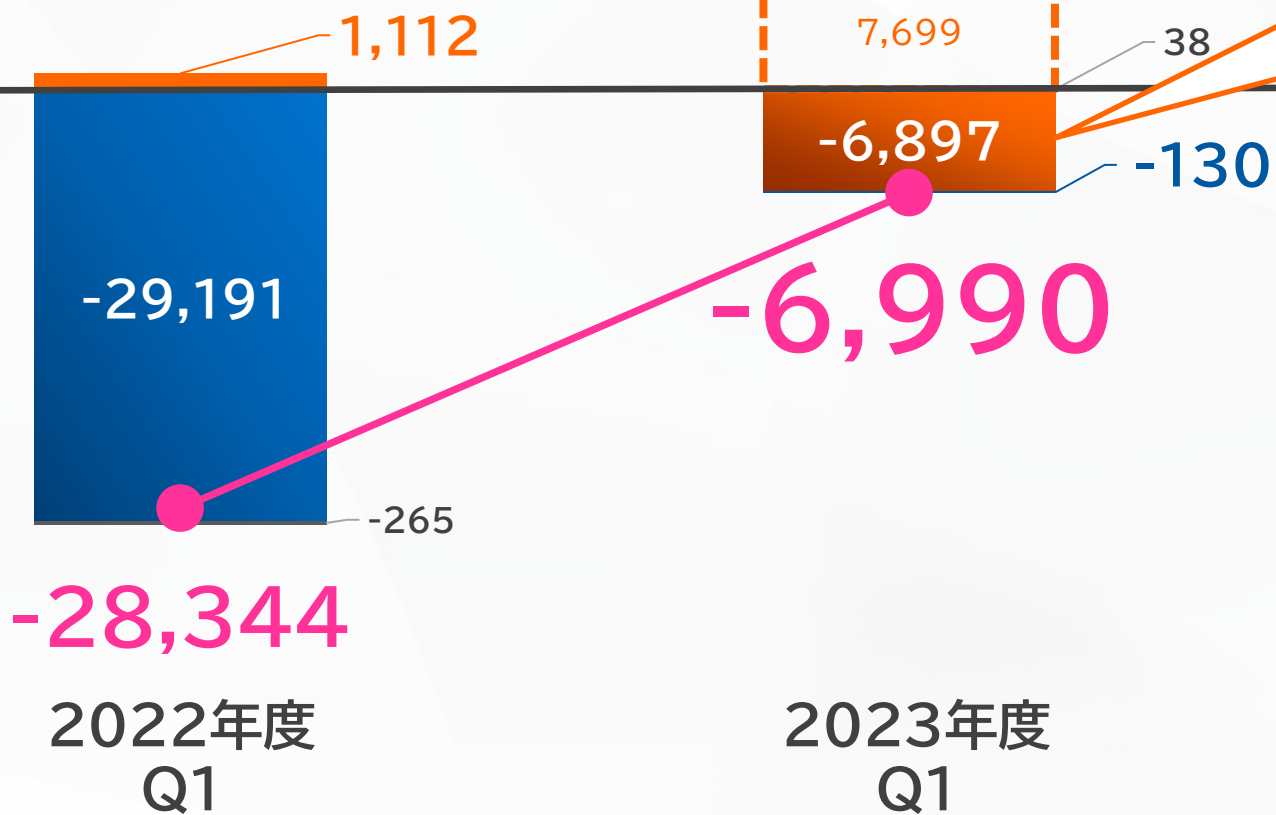
(億円)



連結ベース
大幅改善

投資損益

(億円)



このうち、アリババ株価下落に伴う損失5,534億円は同株式に係るデリバティブ関連利益7,699億円で相殺

連結ベース 大幅改善

SVF事業:ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業
アリババ株式に係るデリバティブ関連利益7,699億円:デリバティブ関連損益(投資損益を除く)に計上

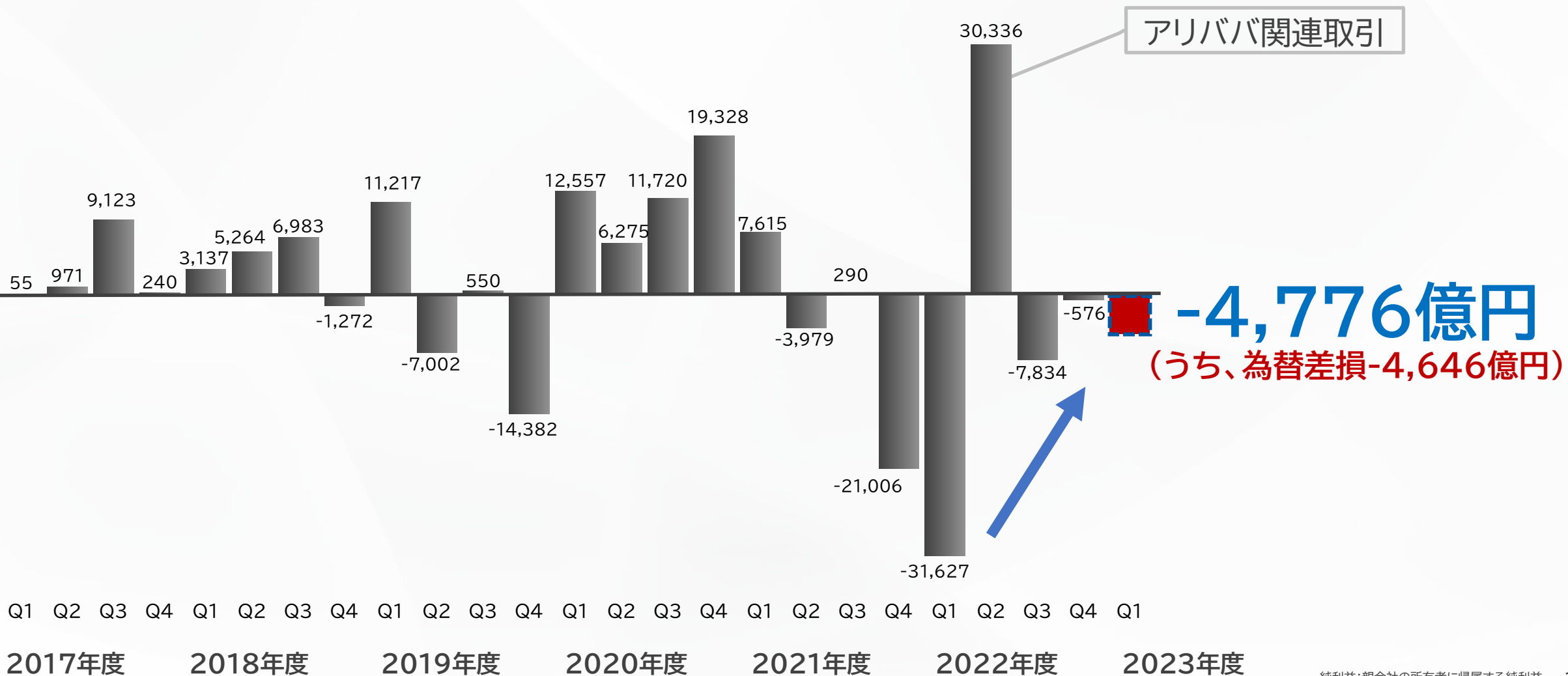
税引前利益 (セグメント別)

(億円)

	2022年度 Q1	2023年度 Q1	増減額
持株会社投資事業	-11,981	-3,945	+8,035
SVF事業	-23,308	610	+23,918
ソフトバンク事業	2,222	2,550	+328
アーム事業	298	-95	-394
その他・調整額	-157	-882	-725
連結	-32,925	-1,762	+31,163

純利益 (四半期)

(億円)



重要指標

重要指標の変動 (2023年度Q1)

3指標とも改善

2023年3月末

2023年6月末

NAV
(時価純資産)

14.1兆円

15.5兆円

LTV
(純負債 / 保有株式価値)

11.0%

8.0%

手元流動性

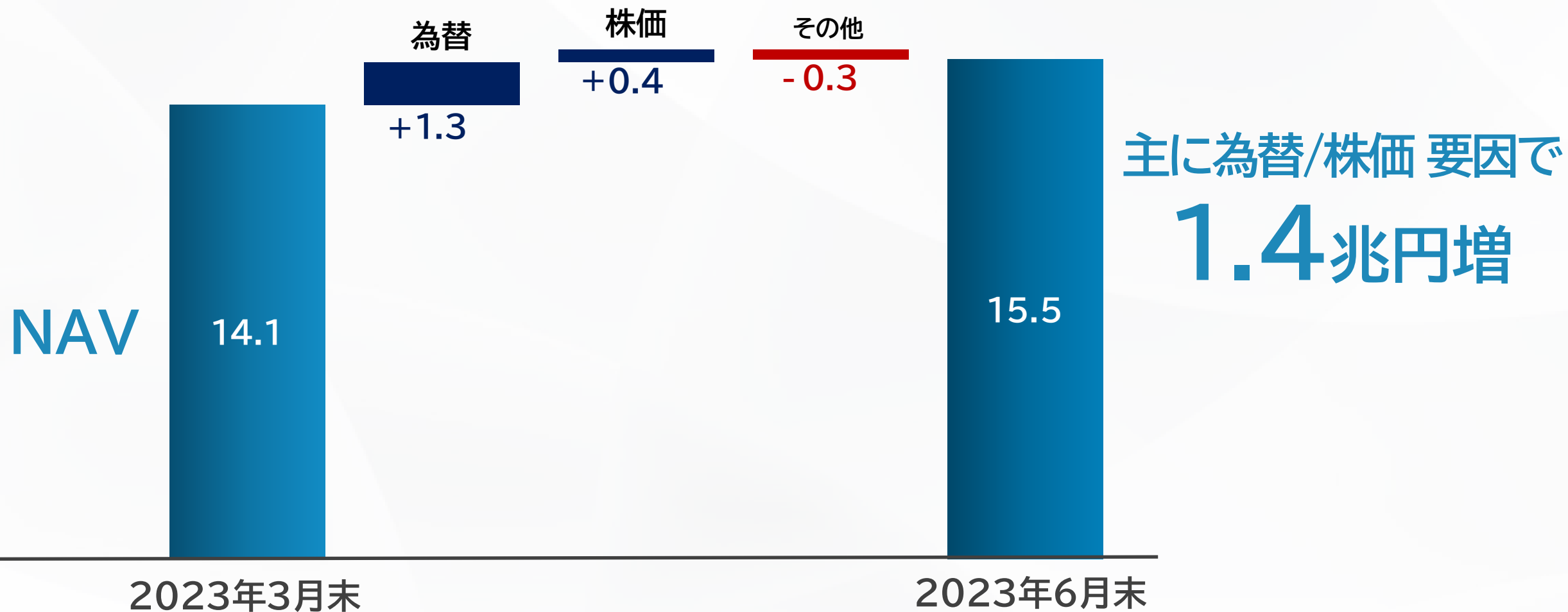
5.1兆円

5.8兆円

NAVおよびLTVの詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年3月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年6月末時点)」を参照
手元流動性:現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く。ただし同社の現金及び現金同等物は含む)。

NAV増減要因

(兆円)



為替影響 (2023年度Q1)

円安はNAVと資本にプラスの影響

NAVへの影響

+1.3兆円

会計への影響

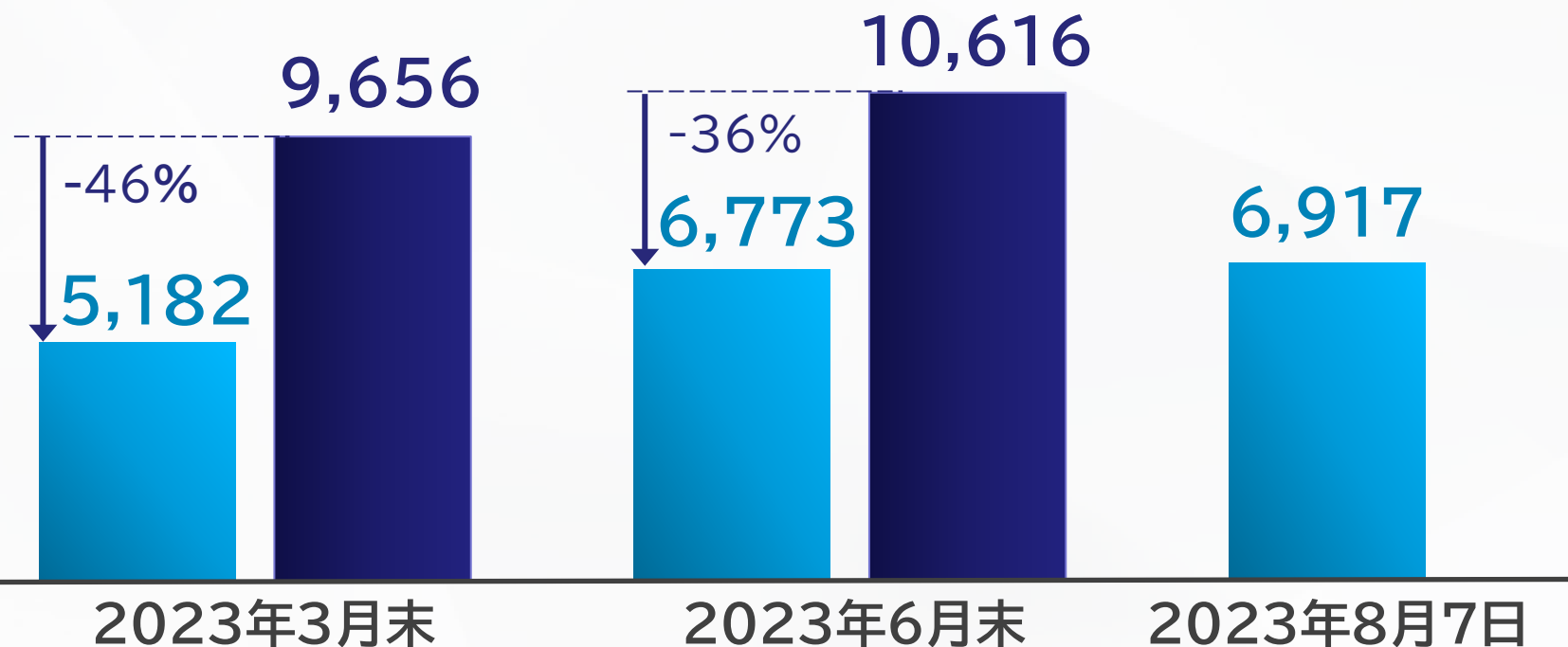
資本
+1.3兆円

連結純利益
-0.5兆円

1株当たりNAVと株価

(円)

■ 株価 ■ 1株当たりNAV

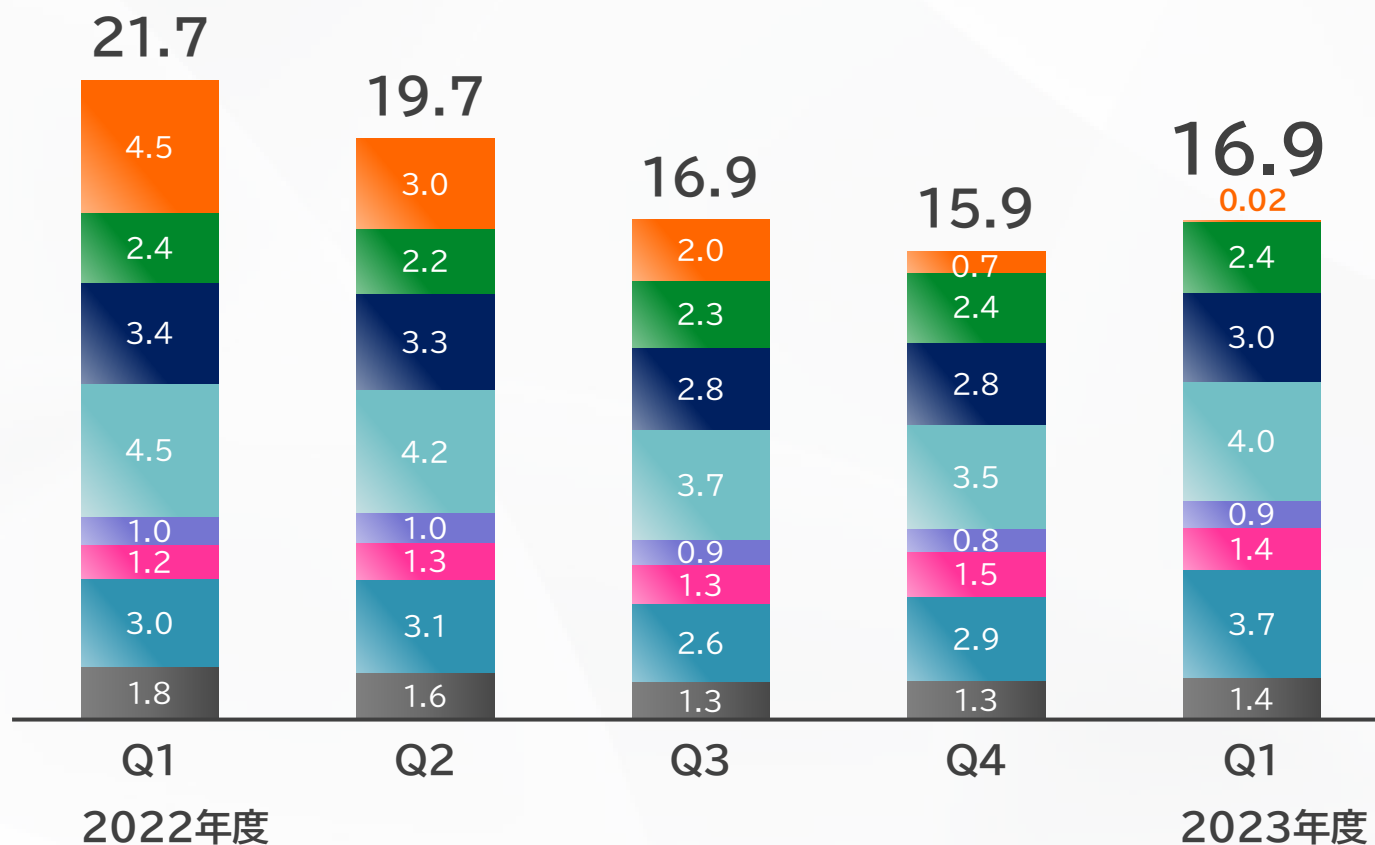


保有株式価値

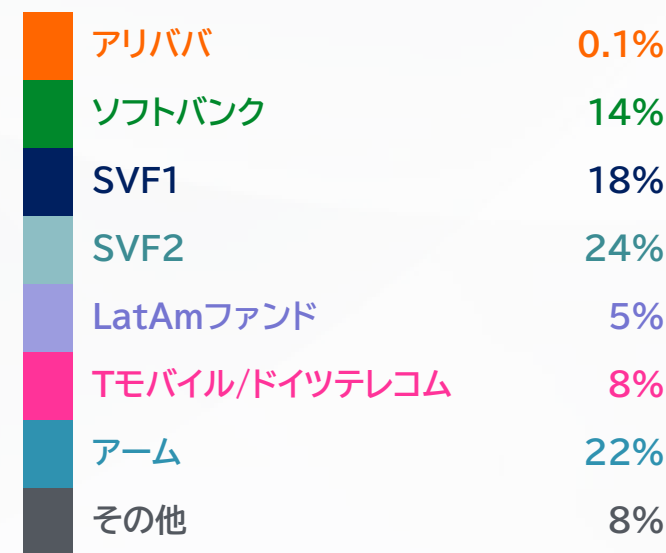
(兆円)

アセットバック・ファイナンス除く

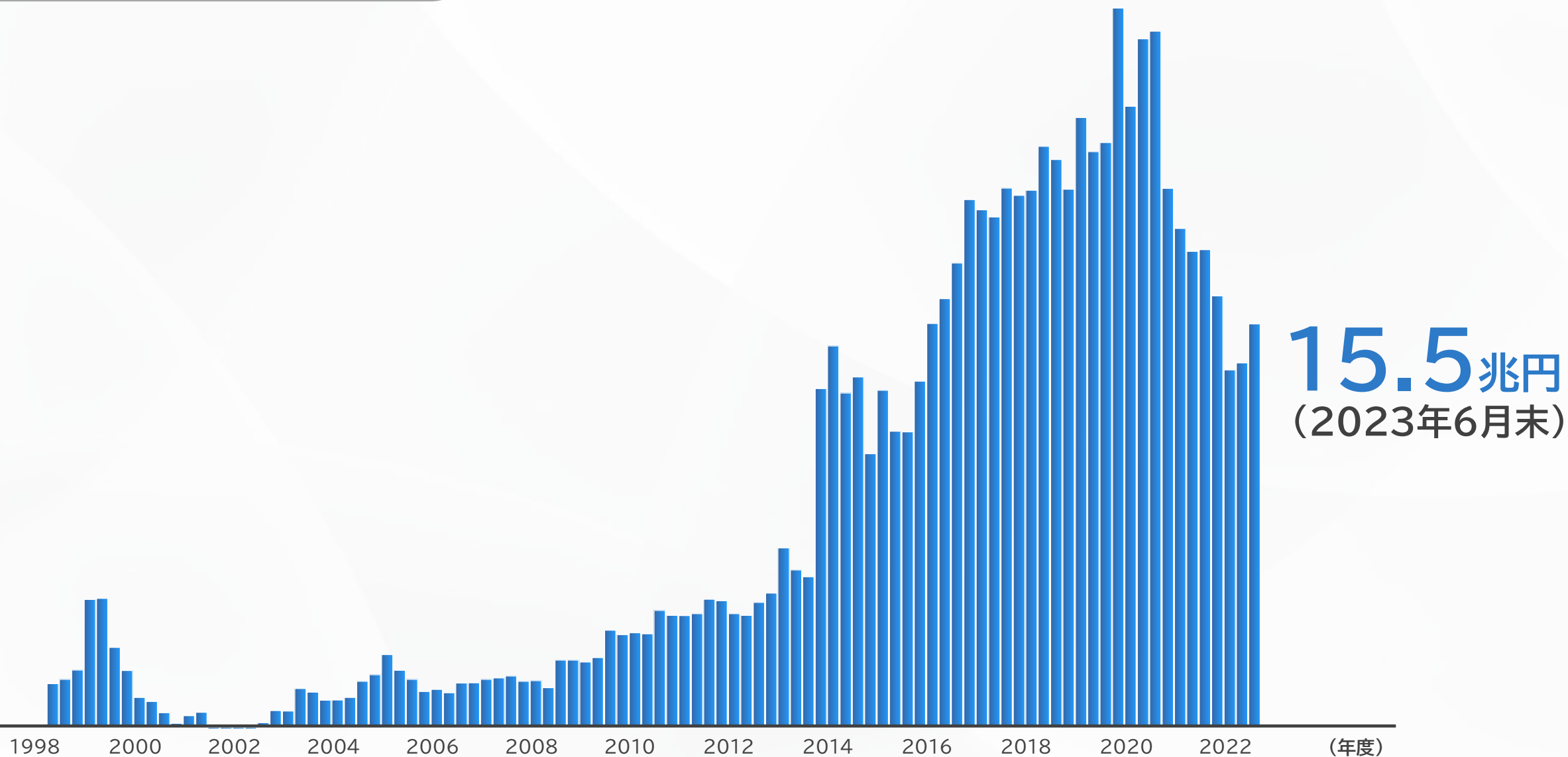
アリババ 資金化完了



構成比(2023年6月末時点)



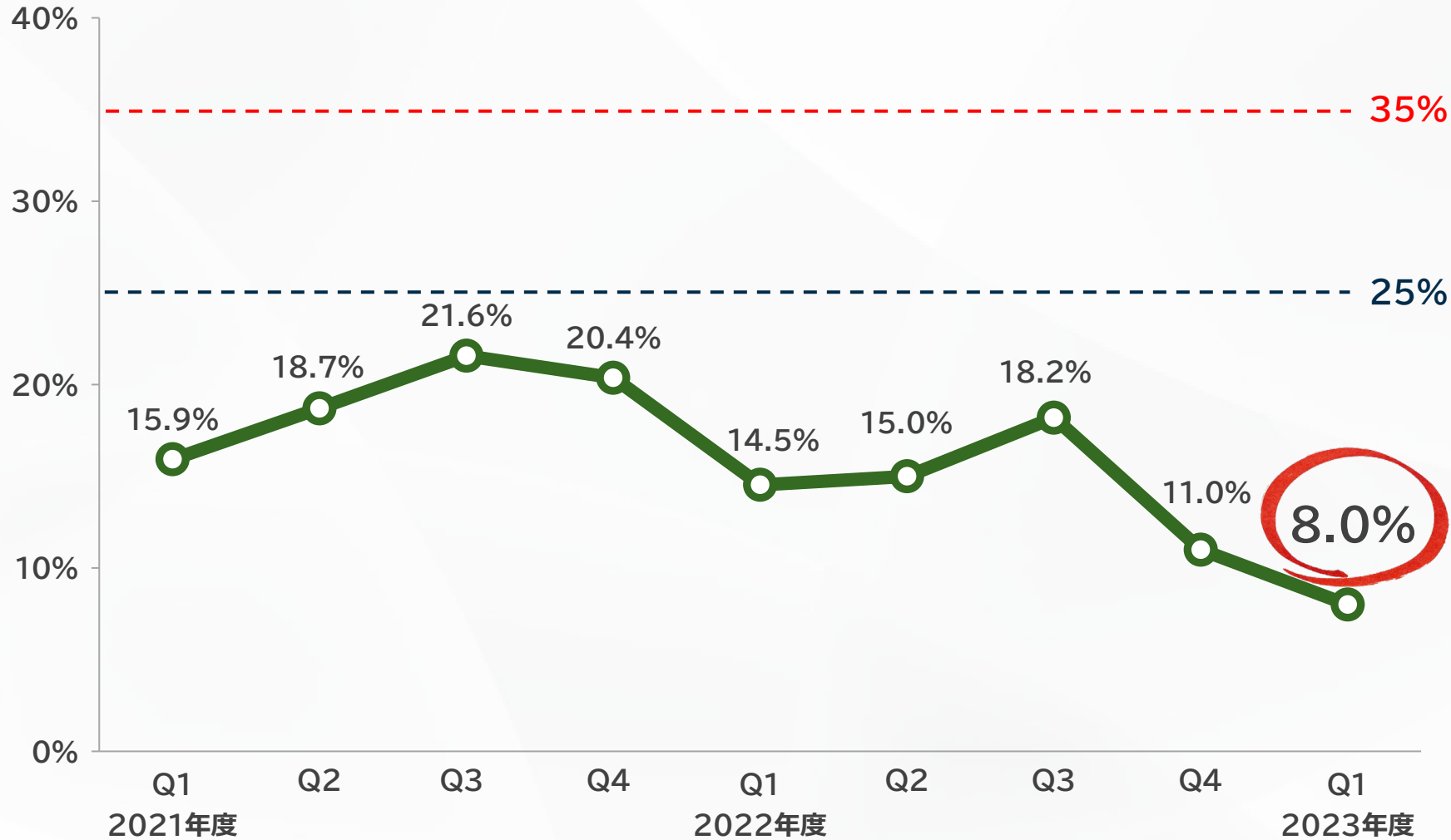
NAVの推移



15.5兆円
(2023年6月末)

LTVの推移

アセットバック・ファイナンス除く



過去最低

手元流動性の推移

(兆円)



さらに増加し
約6兆円に

SoftBank Vision Fund

2023年度Q1: 投資損益

合計

+\$1.0B

SVF1

+\$0.9B

SVF2

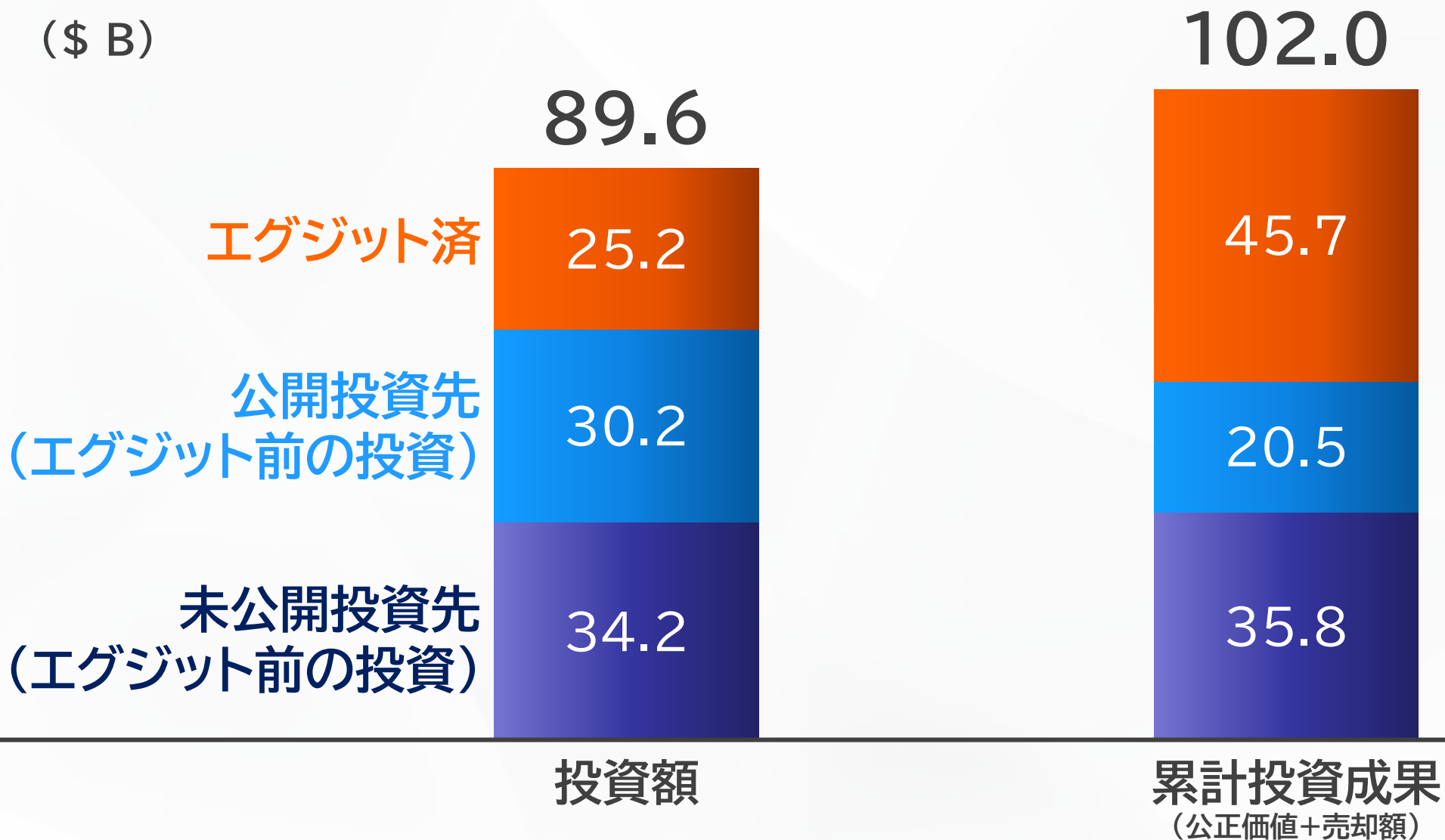
-\$0.3B

LatAmファンド

+\$0.3B

SVF1 累計投資成果 (2023年6月末時点)

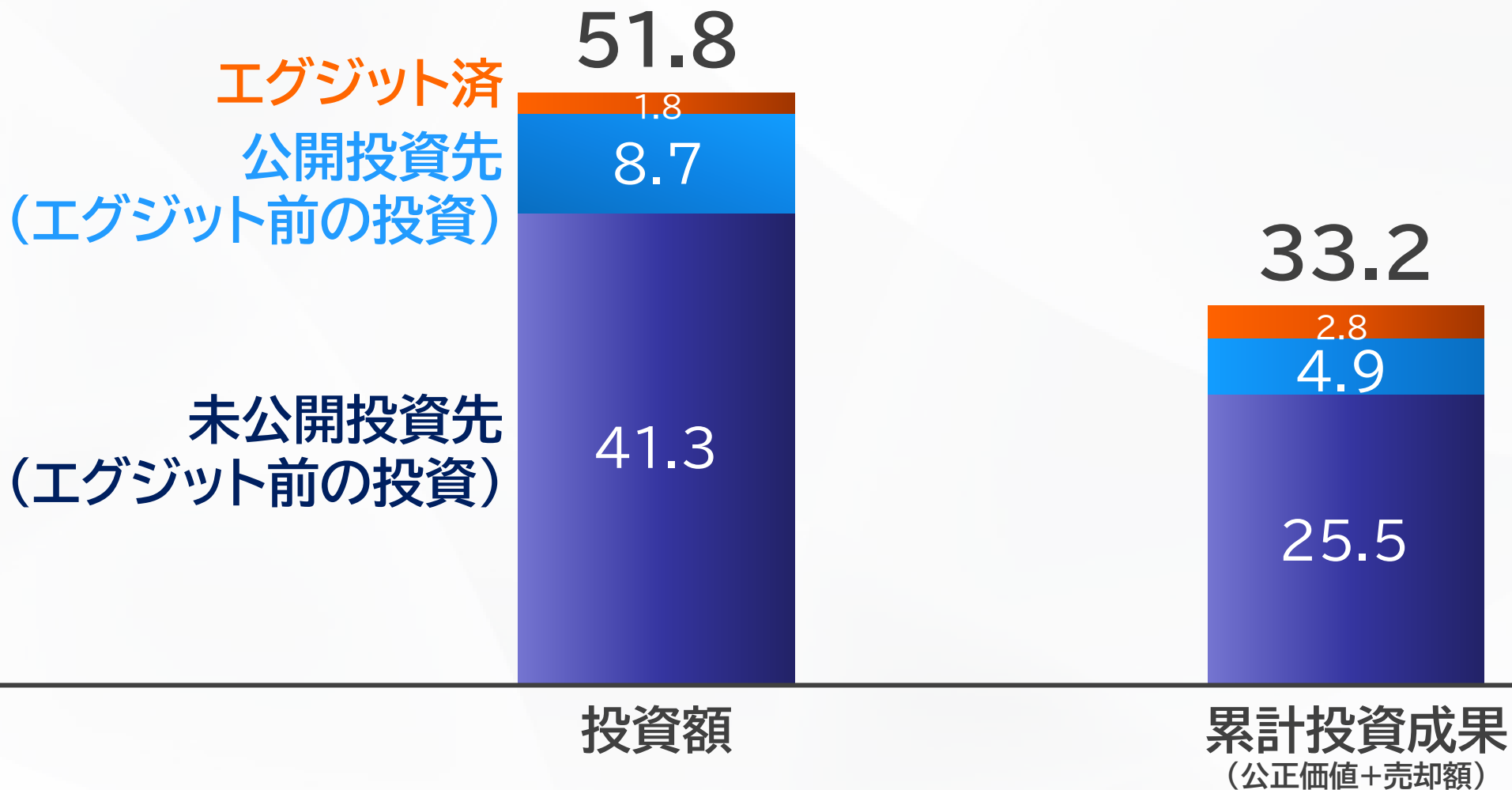
(\$ B)



外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開／未公開の区分は、2023年6月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、株式交換および投資先の組織再編による処分(売却)、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
当社からSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は累計投資成果に含めていない。

SVF2 累計投資成果 (2023年6月末時点)

(\$ B)

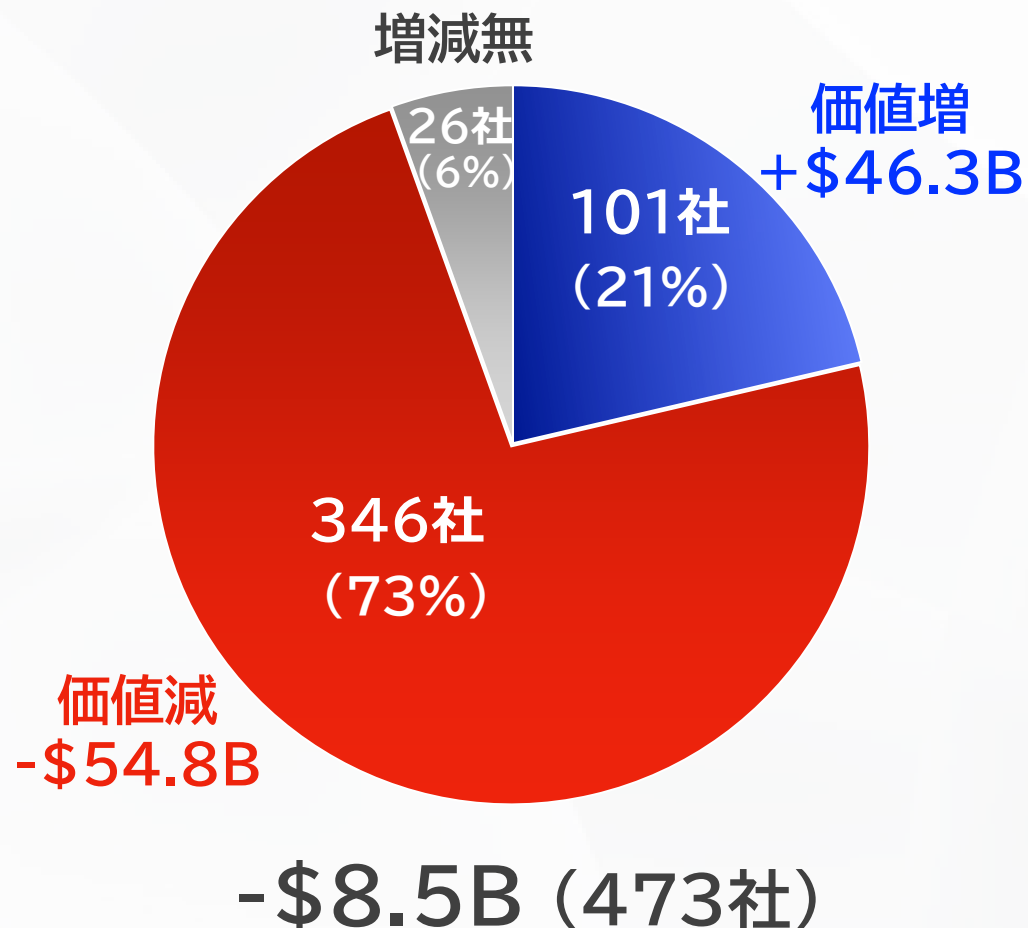


外部投資家持分および税金等の控除前。投資先の公開/未公開の区分は、2023年6月末時点の状態に基づく。
エグジット済には、投資に係るデリバティブ関連損益(未決済のデリバティブを含む)、投資先からの利息および配当金を含む。公開投資先には店頭市場で取引されている株式への投資を含む。
SVF2のエグジット前の投資の投資額および公正価値には、投資の取得対価の一部として受領した他会社の非支配持分に係るものを含む。

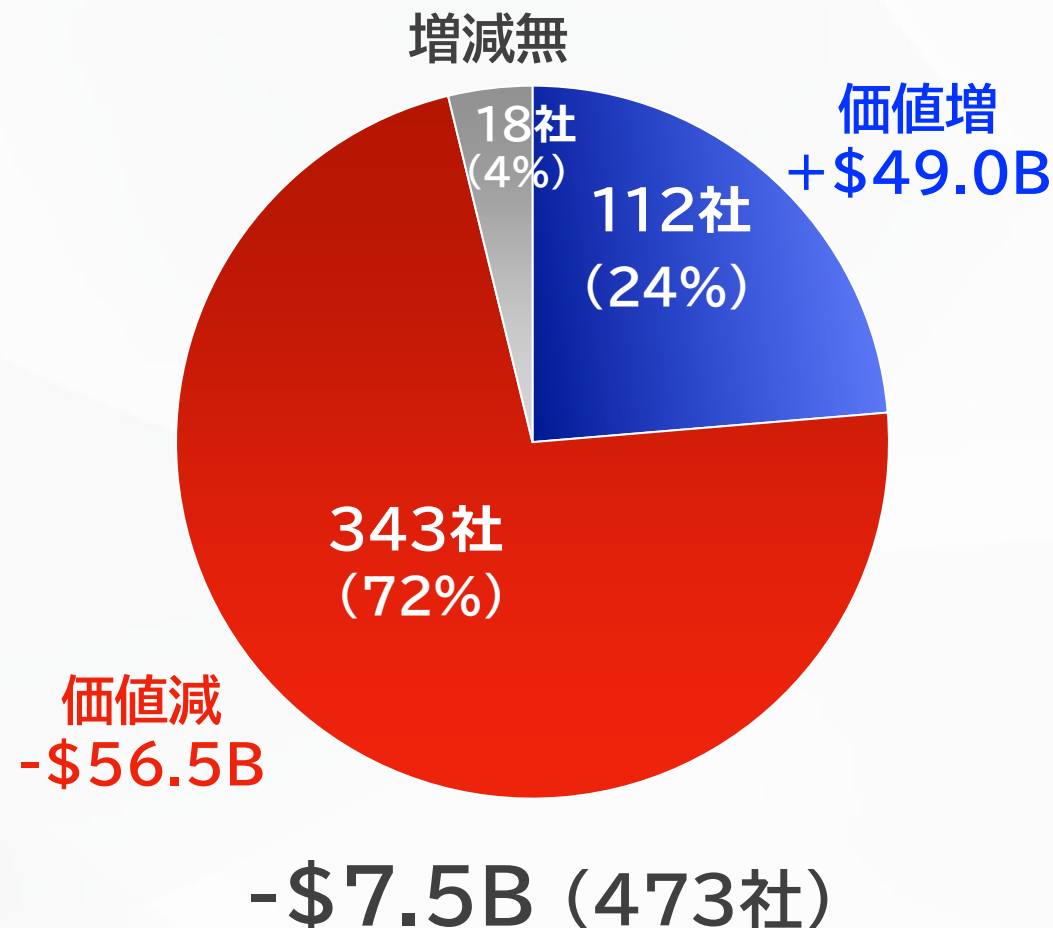
ポートフォリオの価値変動 (累計)

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

2023年3月末



2023年6月末



投資損益

USDベース
(SVF1+SVF2+LatAmファンド)

2022年度Q4 (計-\$1,879M)

2023年度Q1 (計+\$975M)

価値増

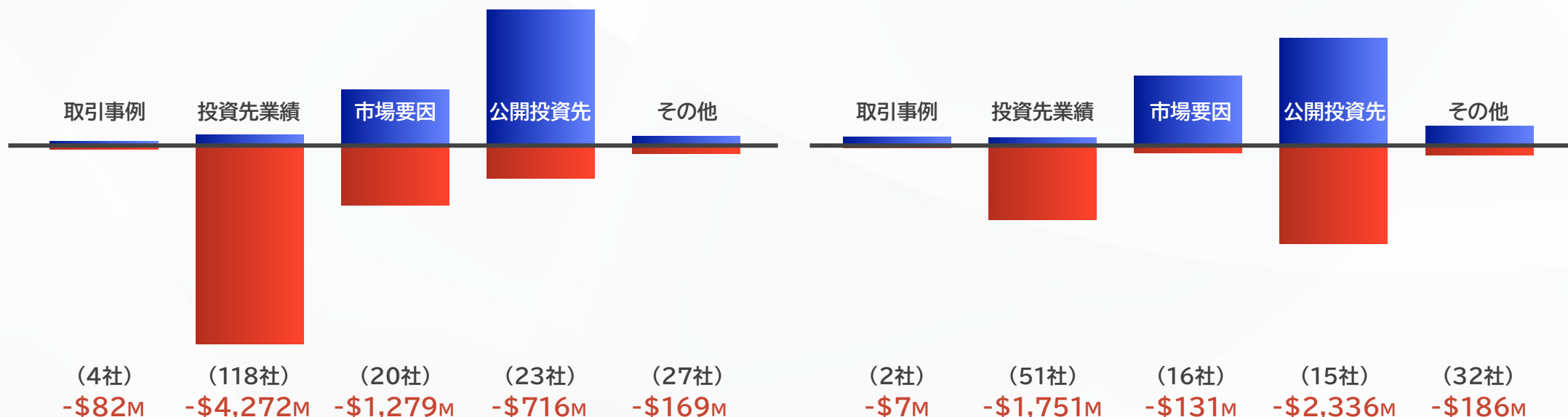
+\$4,639M (88社)

+\$5,385M (150社)

+\$95M (6社) +\$222M (16社) +\$1,202M (16社) +\$2,921M (21社) +\$200M (29社)

+\$256M (9社) +\$238M (12社) +\$1,731M (44社) +\$2,649M (32社) +\$511M (53社)

主要因



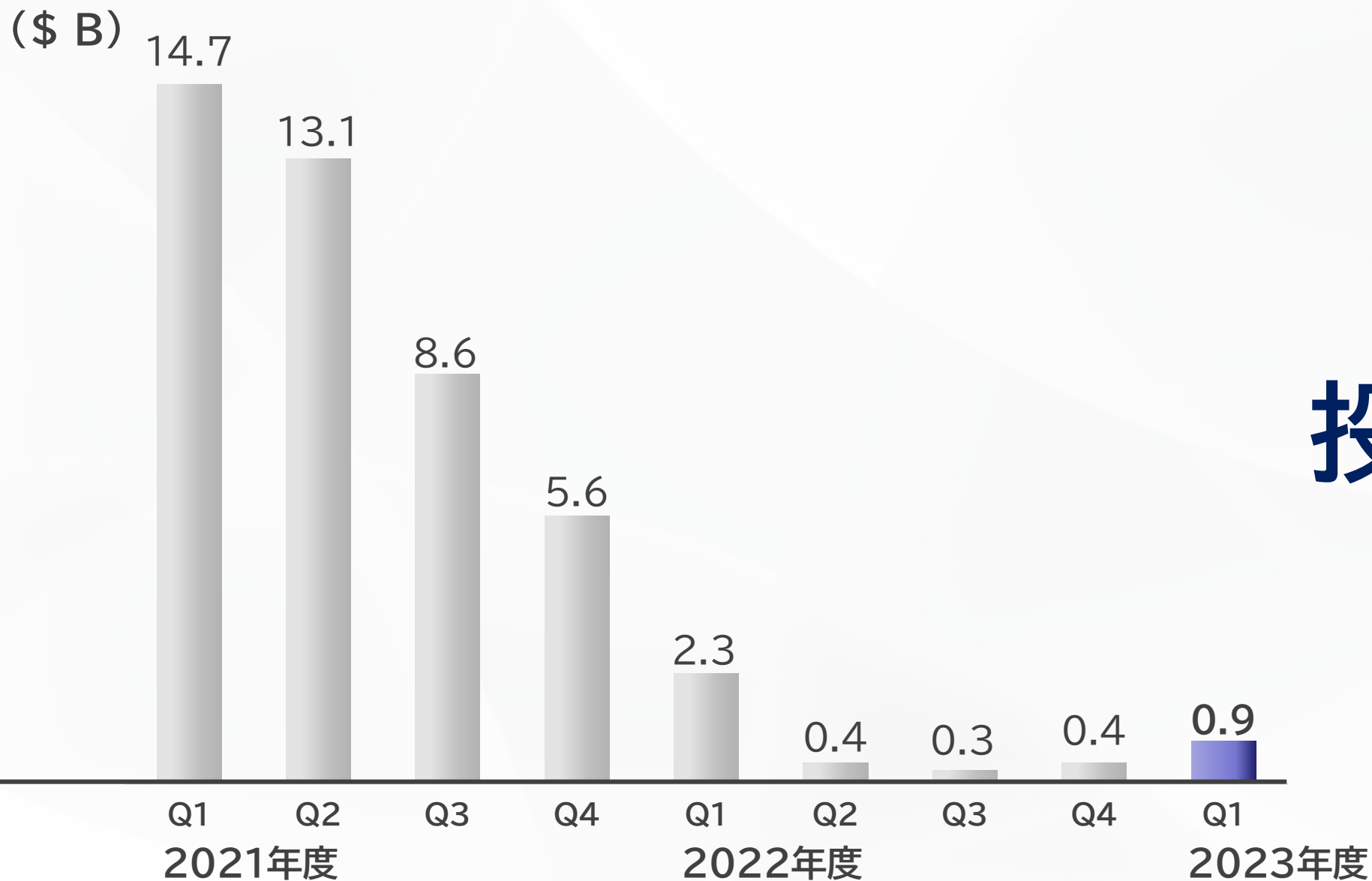
価値減

-\$6,518M (192社)

-\$4,410M (116社)

投資損益: SVF1、SVF2およびLatAmファンドからの投資損益 (デリバティブ関連損益含む、外部投資家持分および税金等控除前)
各投資先の2022年度Q4および2023年度Q1における価値変動の主要因について、SBGAおよびSBIAが合理的と考え決定した区分に基づき分類し表示 (出所) SBGAおよびSBIA
市場要因: 類似企業株価比較、資本コストの変動などによる価値変動を含む。
公開投資先: 店頭市場で取引されている投資先を含む。

投資額の推移 (SVF1+SVF2+LatAmファンド)



投資再開へ

エコシステムの強化

コロナ後のネットワーキング
イベントをグローバルに主催

SVF投資先、SBGグループ企
業、投資家をリコネクト

SVF投資先同士のナレッジ
シェアを活発化

Sōzō Connect

創
想
造
像



Wednesday, 28 June 2023
18:00 - 20:00
Cocktail Reception

Sōzō Connect: London, hos
London investing team, is a
and pipeline founders and c
engage our key stakeholder
connections to encourage d

SoftBank Vision Fund

April 20
Launch Japan



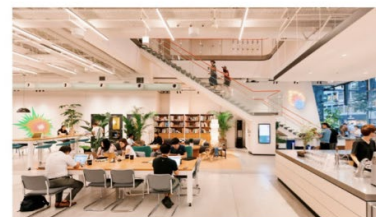
©WeWork



Date: April 20, 2023
Time: 6pm - 8pm
Venue: WeWork Iceberg

Open at 5:30PM

6-12-18 Jingumae, Shibuya, Tokyo
Tokyo Metro Jingumae or Omotesando Station
JR Harajuku Station



©WeWork

- Bring your business card.
- Up to 40 SVF-invested companies' Japan rep will participate.

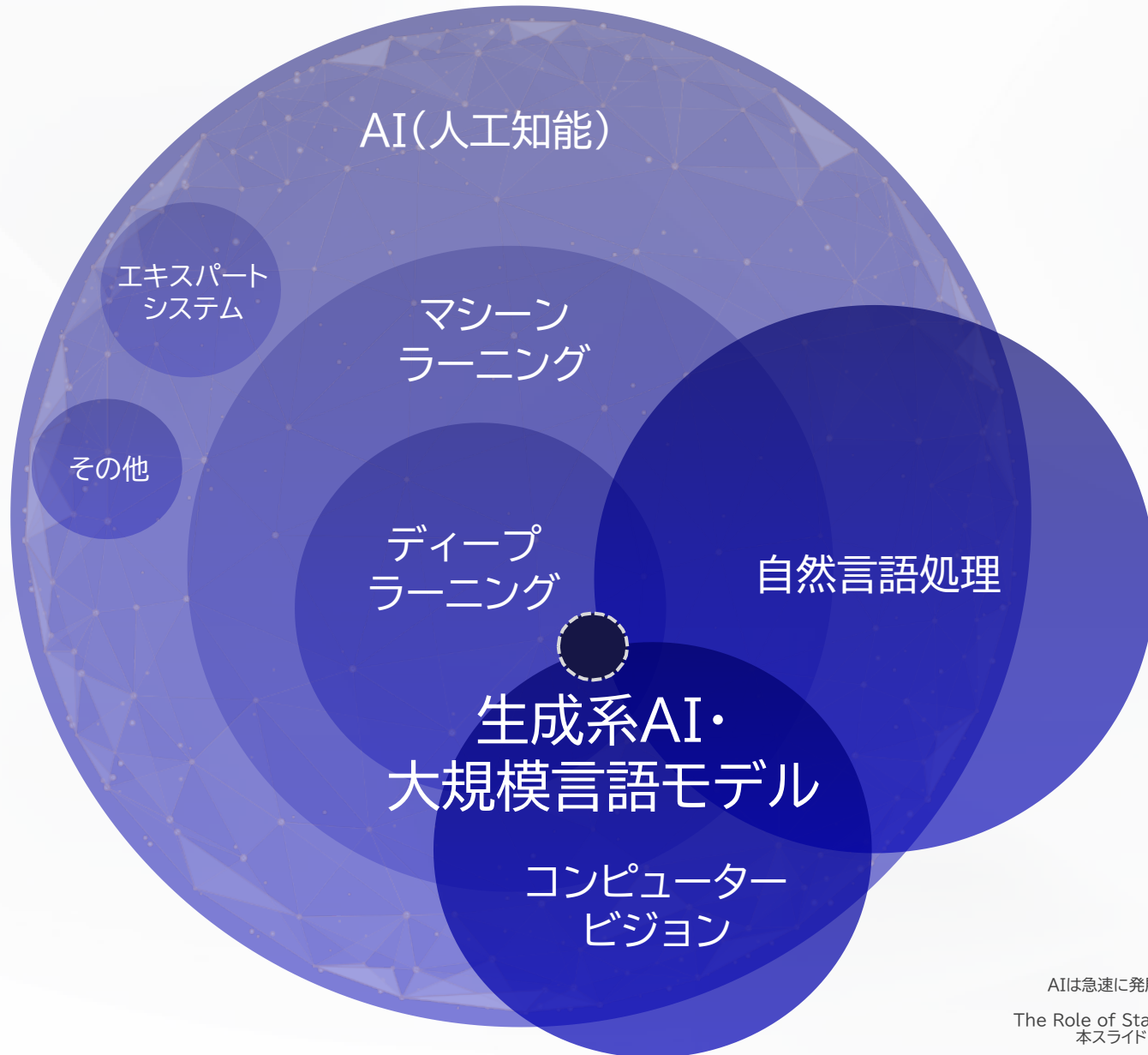
エコシステムの強化: 日本市場進出サポート

- SBGグループは、日本市場進出へのゲートウェイ: 様々なステージで日本進出に向けたサポートを実施
- すでに50社以上のSVF投資先が日本で事業を展開
- SBGグループ内外の日本企業にも様々なビジネス機会を提供



本スライドに記載の情報は、例示のみを目的として提供されるものであり、本資料の日付現在におけるSBIAの見解を反映したものである。本スライドに記載の投資先は、SBIAが行う投資先を例示するために選択されたものであり、SVF1およびSVF2の投資先を網羅するものではない。本スライドに記載の投資への言及は、特定の投資または証券の推奨として解釈されるべきものではなく、将来行われる投資が、本スライドに記載の投資と質またはパフォーマンスにおいて同等であると想定されるべきではない。本スライドに記載の計画が、本スライドに表明された条件で、あるいはまったく実現される保証はなく、これら計画はすべて不確実性とリスクの対象となる。

AIテクノロジーマッピング



生成系AIは、
AIテクノロジー
全体の1分野
出所: IDC その他

本スライドで図示している内容は、AIおよびAIに関連するさまざまな領域を簡略化したものである。AIは急速に発展している領域であるため、本スライドに記載されていない関連領域が存在または将来的に出現する可能性がある。
(出所) IDC – Generative AI Explainer; UCI Department of Statistics- The Role of Statistics in Modern Data Analysis; Bulletin of the American Meteorological Society; SBIA分析
本スライドに記載の情報は例示のみを目的として提供されるものであり、現時点におけるSBIAの見解を反映したものである。

拡大を続けるAIの使用例

セクター	 フロントティア テック	 エンター プライズ	 コンシューマー	 ヘルステック	 ロジスティクス	 プロップテック	 フィンテック	 トランス ポートーション	 エドテック
	プロセッサIP	コーディング	カスタマー サービス マネジメント	創薬	自動倉庫	ビル オペレーション	クレジット スコアリング・ ローン組成	自動運転	動的教育 アセスメント
使用例	サイバー セキュリティ	ソフトウェア・ テストング	商品レコメンド	治療方針の パーソナライズ 化	需給予測	不動産 マーケティング	ファイナンシャル・ プランニング	車両整備 アセスメント	リアルタイム フィードバック
	3Dプリント	要件定義書 作成	価格最適化	メディカル・ イメージング・ インサイト	ルート最適化	不動産 価値評価	不正検知	車両管理	個別指導

投資先
例

Enpal

job&talent

Picsart

Biofourmis

DELIVERY

贝壳
BEIKE

PayPay

KAVAK

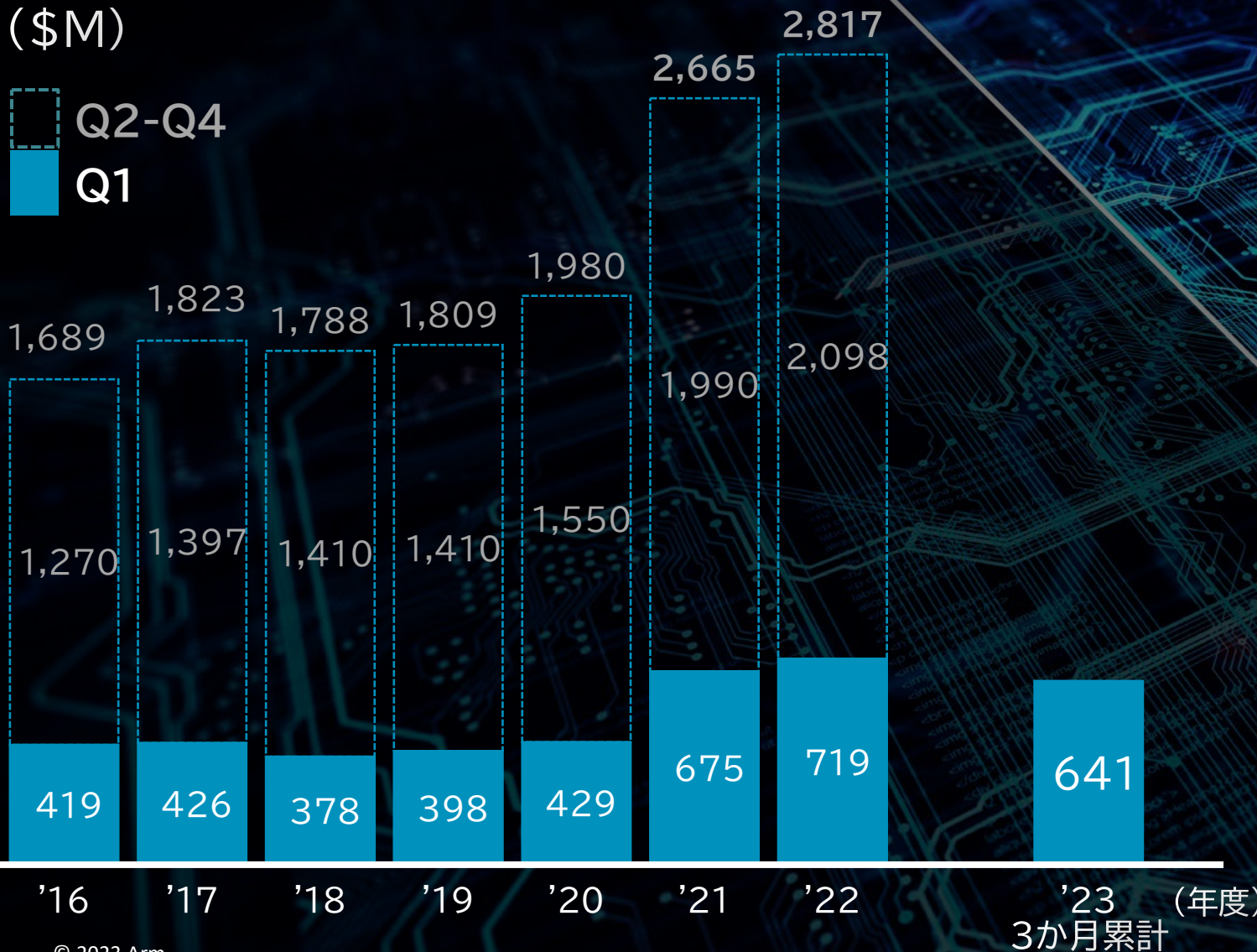
go1

Arm

売上高

(\$M)

Q2-Q4
Q1



年平均成長率 (直近3年間の3か月累計実績)

14%

ArmベースのAIはいたるところに

arm

モバイル



あらゆるアプリケーション向けAI

クラウド



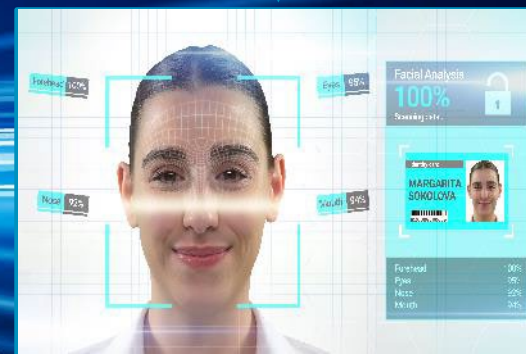
生成AI
AIに最適化されたチップ

自動車



自動運転

IoT



スマートカメラ

モバイル向け コンピューティングプラットフォーム

(2023年5月発表)

次世代AI



CPU

GPU

ツール

ソフトウェア

没入感のある ゲーム体験



Arm Total Compute Solutions 2023

モバイル向けコンピューティングプラットフォーム: Arm Total Compute Solutions 2023
(出所) Arm

本スライドは例示のみを目的として提供しており、Armから提供された情報に基づいて作成
SBG、SVF1、SVF1のジェネラル・パートナー又はSBIAが情報の正確性を保証するものではなく、情報を更新する義務を負わない。

NVIDIA、Armベースのスーパーコンピューター発表

NVIDIA、スーパーコンピューター
「Isambard 3」を発表 (2023年5月)

Armベース NVIDIA Grace CPU
スーパーチップ搭載、医療・科学研究を
推進

ヨーロッパで最もエネルギー効率の
高いシステムのひとつとなる見込み
(NVIDIAによる)



Arm新規株式公開プラン

arm

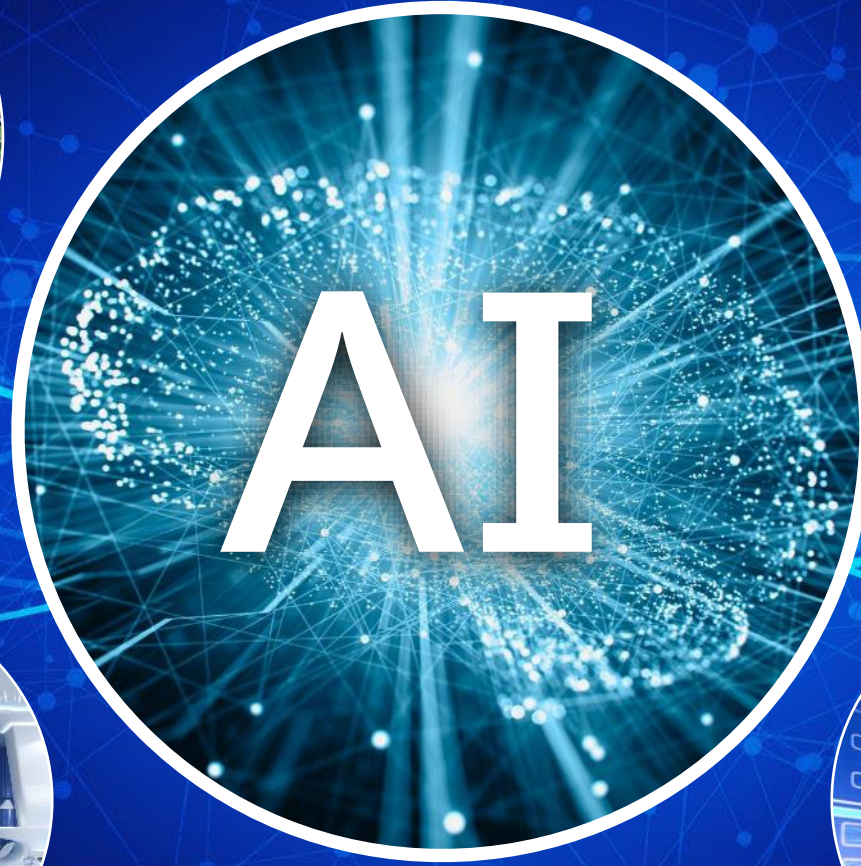
Armは米国SECにForm F-1の
登録届出書ドラフトを非公開で提出

本新規株式公開の規模及び価格帯は未決定

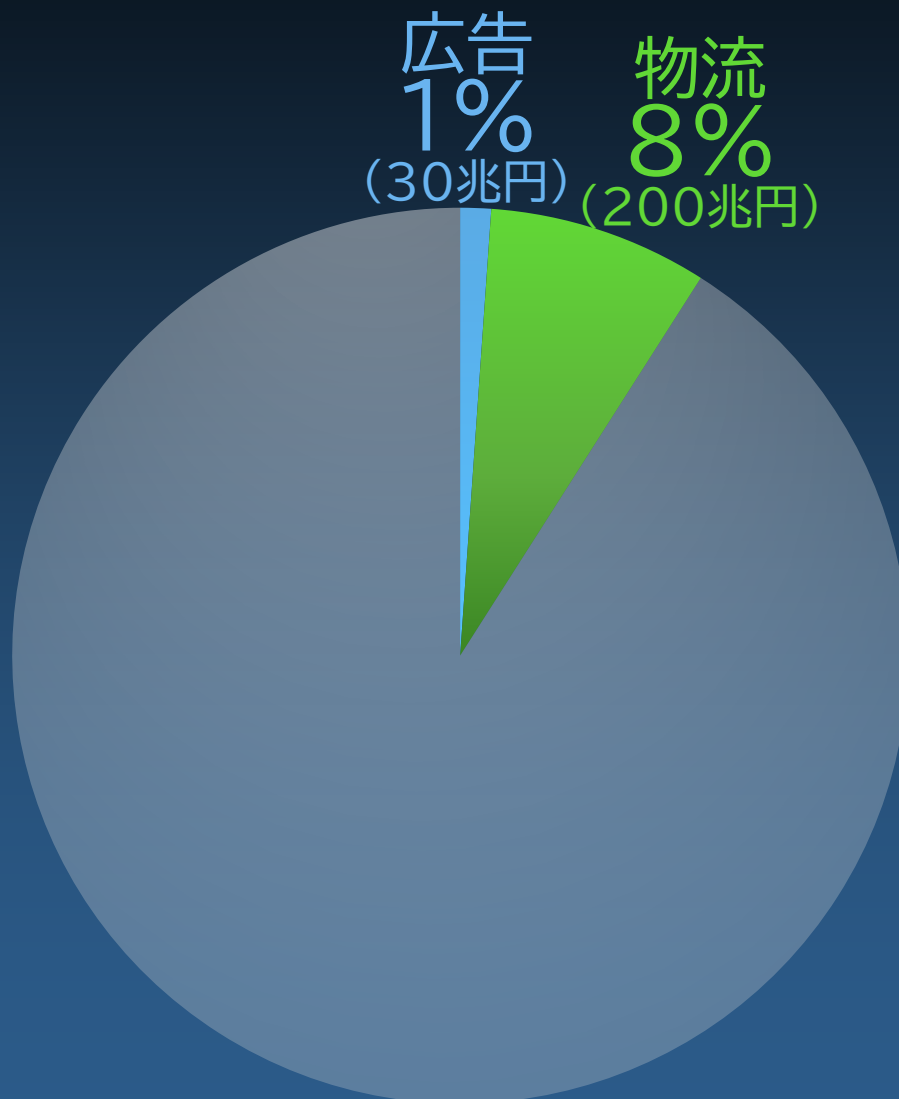
本新規株式公開は、市場及びその他の状況、
並びにSECによる審査プロセスの完了が条件

AIによる産業構造の変化

AIがあらゆる産業を変革へ

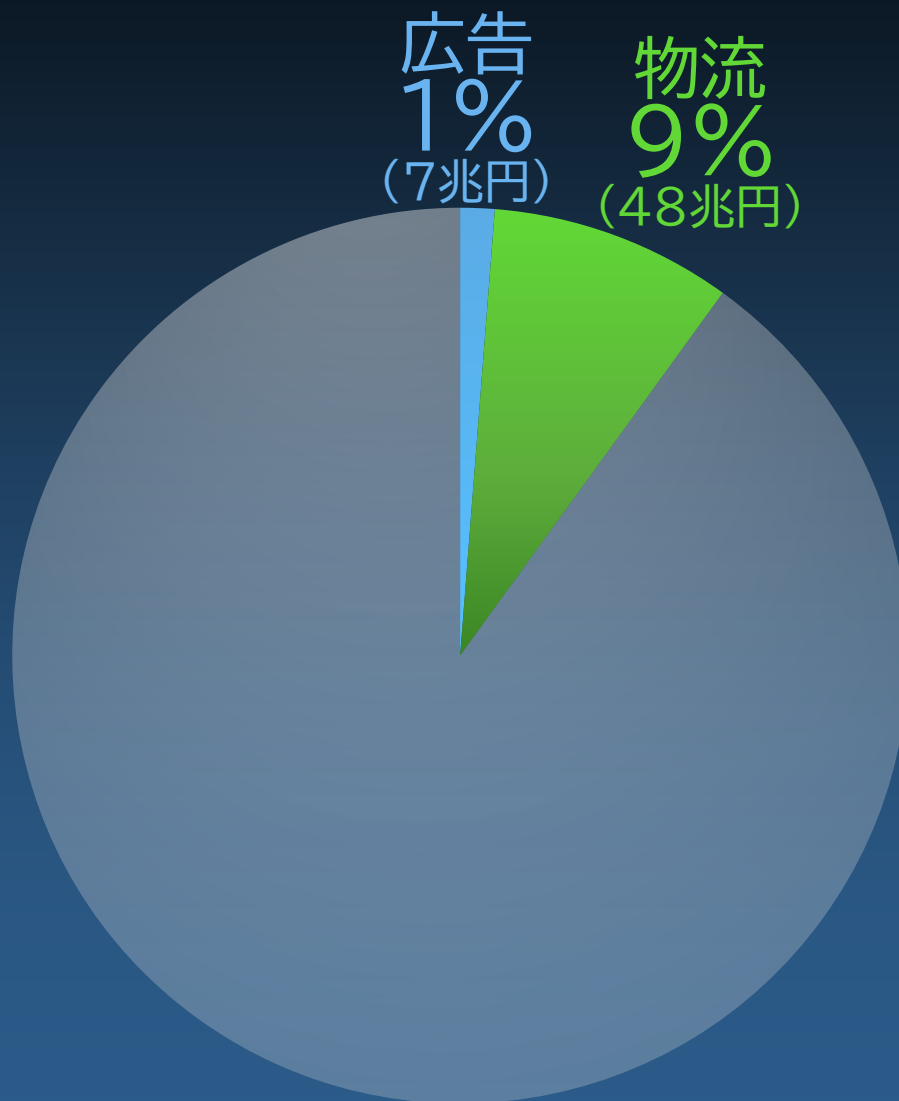


GDPに占める物流の市場規模



計
2,500兆円

GDPに占める物流の市場規模



計
550兆円

物流領域への戦略投資

AI活用によるロジスティクス自動化のため戦略投資を推進



2023年7月に①JVを設立(出資コミットメント\$3.2B)、②\$500Mで持分3%を買い増し (当社グループの既存保有割合:計5.6%(2023年3月末現在))

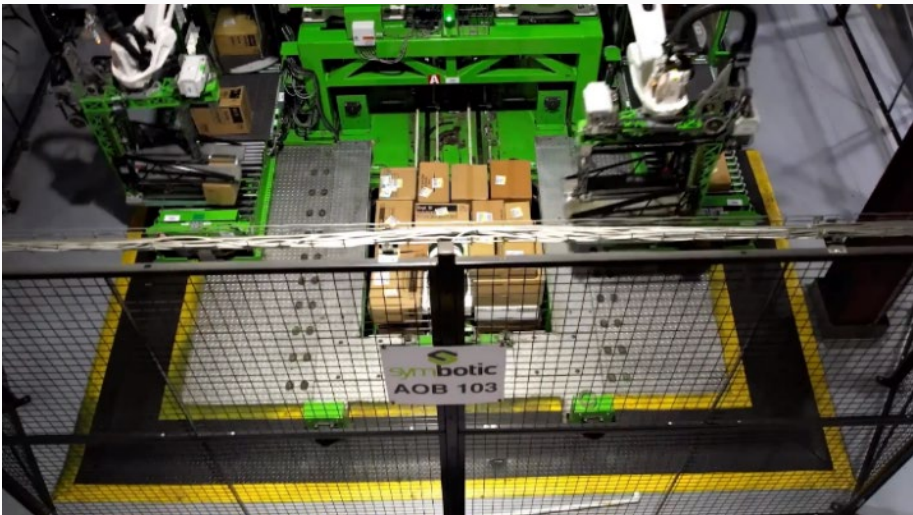


2023年7月に全株式を総額\$338Mで取得 (SVF2の保有割合:27.7%(2023年3月末現在))



総額230億円の資金調達ラウンドに参加し2023年3-6月に持分取得

小売業者や流通業者向けに倉庫の自動化プラットフォームを提供



- 2007年に設立、2022年にNASDAQ上場
- AI搭載ロボット技術プラットフォームで保管密度、効率性、スピード、柔軟性を大幅に向上するために、倉庫の自動化を革新
- 市場規模\$500B超のWarehouse-as-a-ServiceをターゲットにGreenBox JVを立ち上げ
- 2022年度売上高\$593.3M(前年度比136%増)

GreenBox Systems



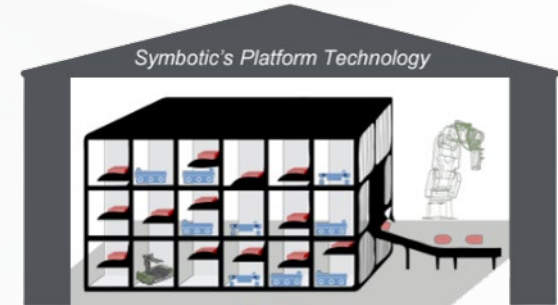
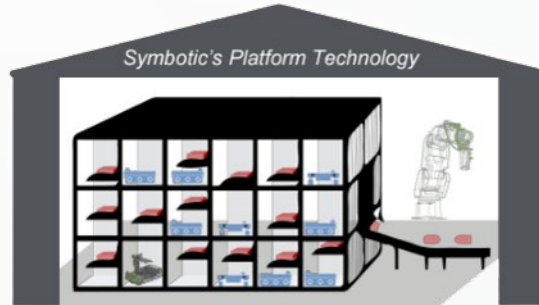
革新的なWarehouse-as-a-Serviceを提供



GreenBox自動化倉庫A

GreenBox自動化倉庫B

GreenBox自動化倉庫C



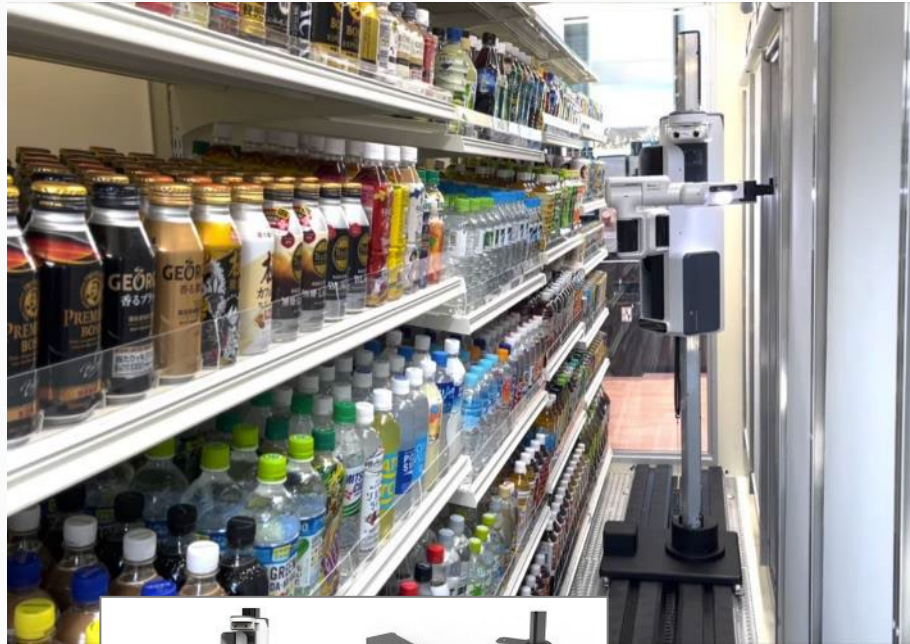
外部顧客(シングルおよびマルチテナント)

フルフィルメントを自動化するAI活用ロボットソリューションを提供



- 2013年設立
- EC、小売店、コンビニ、物流業者向けに、AIを活用したECのフルフィルメント、店舗在庫補充、荷捌き(識別/仕分/ピッキング)のロボットソリューションを提供
- 2022年度売上高 \$65.9M(前年度比29%増)

遠隔操作・AIロボットの開発およびそれらを使用した事業を展開



- 2017年設立
- コンビニのバックヤードで飲料補充を行うAIロボット事業の展開
- 国内ではファミリーマートと300店舗への導入を契約済
- 店舗スタッフが行う、1店舗当たり500～1,000本の飲料陳列を同社製ロボットが完全に代替

財務戦略

2023年度の財務戦略

財務方針の堅持

「守り」「攻め」
両面に対応
できる財務運営

財務方針の堅持

1

通常時 LTV25%未満 で運用（異常時でも上限35%）

2

少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

3

SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

「守り」「攻め」に対応できる財務運営

更なるダウンサイド
にも耐える「守り」

財務の安全性を
維持しつつ
情報革命を牽引する
投資は実行

通常時 LTV25%未満で運用
(2023年6月末 LTV=8.0%)

少なくとも2年分の社債償還資金を保持
(2023年6月末 手元流動性=5.8兆円)

キャピタルアロケーション



新規投資



株主還元*



財務方針
(財務の安全性)

バランスを
常に考慮

* NAVディスカウント水準も考慮事項

SBG連結ベース法人所得税支払額(純額)

(億円)

	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	5年計
連結ベース	4,154	6,363	4,455	5,893	5,259	26,124
国内	2,843	5,752	3,105	5,512	4,697	21,909
SBGおよび国内中間持ち株会社 (100%子会社)	368	3,247	357	2,000	2,142	8,114
国内事業会社 (主にソフトバンク、ヤフー等)	2,475	2,505	2,748	3,512	2,555	13,795
海外	1,311	611	1,350	381	562	4,215

納付額と還付額の純額を記載
 法人所得税の支払額(連結)は、連結キャッシュ・フロー計算書における「法人所得税の支払額」と「法人所得税の還付額」の純額に一致
 FY2018の還付額のうち839億円、FY2020の還付額のうち1,211億円はそれぞれ前期に支払った税金の還付に該当するため前期の支払額とネットして表示
 SBGがFY2022の課税所得に基づきFY2023Q1に支払った2,292億円のキャッシュタックスは、上表のFY2022の法人税の支払額には含まれていない。

(参考)連結法人所得税支払額トップ10 (FY18-22)

(億円)

	会社名	FY2018	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	5年計
1	トヨタ自動車	8,366	7,775	8,101	8,098	12,972	45,312
2	NTT	6,134	4,883	5,243	4,343	7,384	27,987
3	ソフトバンクグループ	4,154	6,363	4,455	5,893	5,259	26,124
4	INPEX	3,881	4,439	2,181	3,527	9,060	23,088
5	KDDI	2,887	3,040	3,314	3,671	2,895	15,807
6	三井住友フィナンシャルグループ	2,838	2,858	1,357	2,687	3,844	13,584
7	本田技研工業	2,636	2,305	2,063	2,031	4,013	13,048
8	三菱UFJフィナンシャル・グループ	3,020	1,281	1,247	2,201	4,775	12,525
9	日本郵政	3,672	2,215	1,686	2,748	1,246	11,568
10	ソニーグループ	2,105	2,169	1,191	2,699	2,979	11,143

(出所) S&P Global Capital IQ
 基準:(1)日本市場における上場企業を抽出、(2)連結ベースの法人税支払額を集計(=連結キャッシュ・フロー計算書における法人税支払額+還付額)、(3)FY2018~2022の合計納税額ランキング上位10社
 ソフトバンクグループ: FY2018の還付額のうち839億円、FY2020の還付額のうち1,211億円はそれぞれ前期に支払った税金の還付に該当するため前期の支払額とネットして表示

まとめ

1 SVFは6四半期ぶりに黒字転換

2 NAVは15.5兆円に増加、LTVは8.0%に低下

3 「攻め」の投資を再開へ

4 ArmはIPO準備を継続

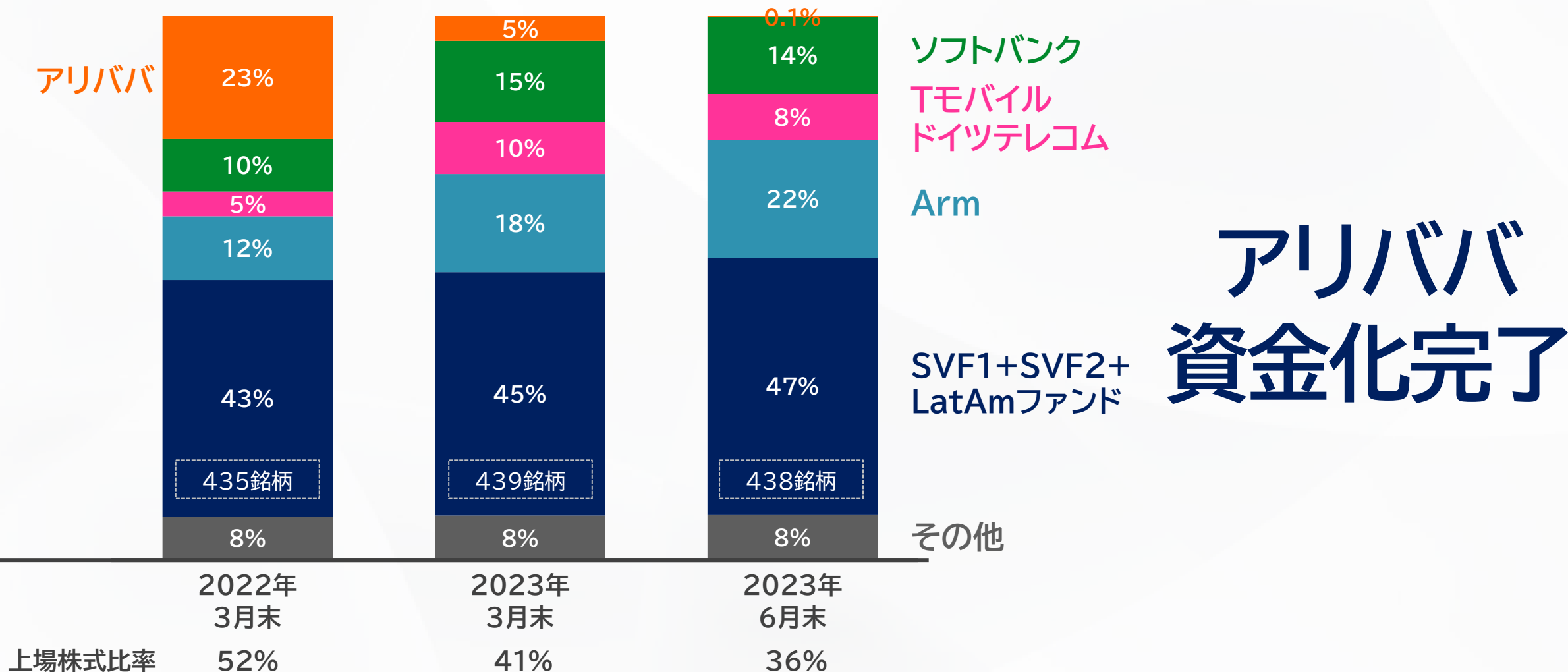
情報革命で人々を幸せに



Appendix

保有株式価値：ポートフォリオの分散

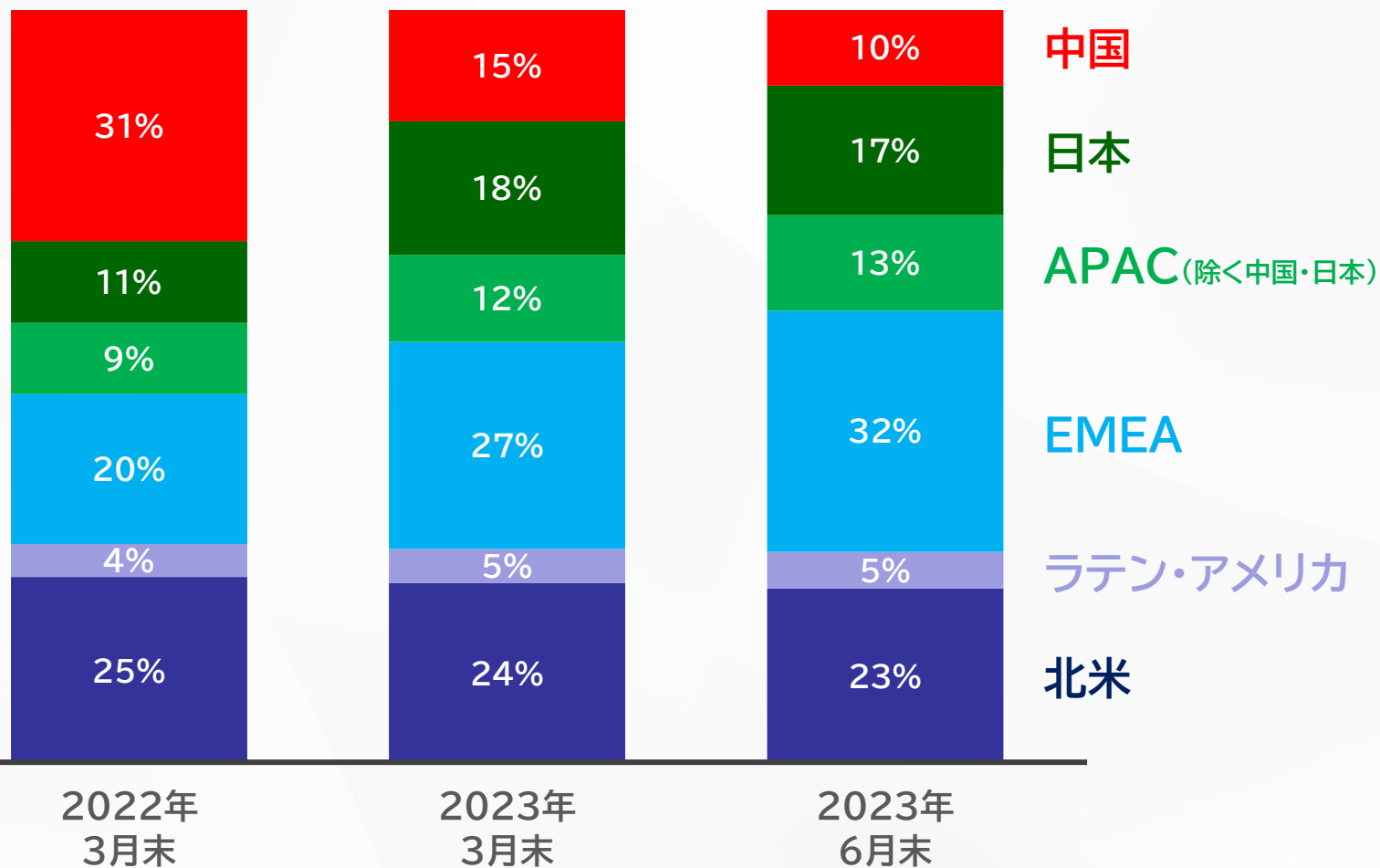
アセットバック・ファイナンス除く



アリババ
資金化完了

保有株式価値の詳細は、Appendix「NAV・LTVの定義及び算出方法(2022年3月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年3月末時点)」「NAV・LTVの定義及び算出方法(2023年6月末時点)」を参照
 上場株式比率:アリババ、SVF1、SVF2およびLatAmファンドが保有する上場株式、ソフトバンク、Tモバイル、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む(ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む)。
 (i) 2023年6月末時点のSBGの保有株式価値のうち上場株式価値の占める割合(アセットバック・ファイナンス控除後)と、(ii)アームの上場準備状況を踏まえた、2023年6月末時点のSBGのアーム保有株式価値(アセットバック・ファイナンス控除後)を合計すると58%となる。アームは既に上場準備の開始を発表しているが、上場の時期、上場後のアームの価値およびSBGのアーム保有株式価値については未定であり、これらについて何らの保証または示唆を与えるものではない。
 2023年6月末におけるSVF1・2およびLatAmファンドが保有する銘柄数の内訳: SVF1は76件、SVF2は272件、LatAmは90件。詳細については、「2024年3月期 第1四半期 決算データシート」掲載の各ファンド投資先一覧を参照

保有株式価値：ポートフォリオの分散

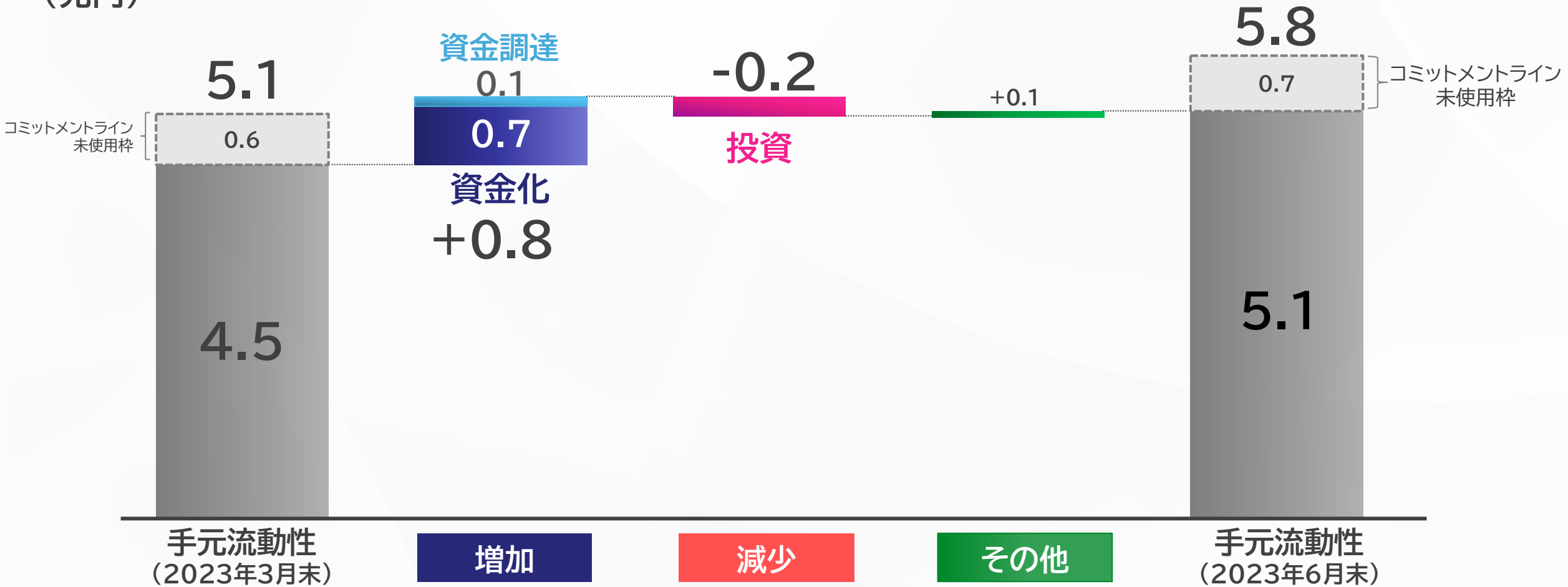


地域分散 が進展

各投資先の本社所在地に基づき地域を分類
 中国:アリババ、SVF1およびSVF2(中国相当)、その他の中国投資の合計
 日本:ソフトバンク、SVF1およびSVF2(日本相当)、その他の日本投資の合計
 APAC(除く中国・日本):SVF1およびSVF2(中国・日本を除くAPAC相当)、その他の中国・日本を除くAPAC投資の合計
 EMEA:Arm、ドイツテレコム、SVF1およびSVF2(EMEA相当)、その他のEMEA投資等の合計
 ラテン・アメリカ:LatAmファンド、SVF1(ラテン・アメリカ相当)、その他のラテン・アメリカ投資の合計
 北米:Tモバイル、SVF1およびSVF2(北米相当)、その他の北米投資の合計

資金化と資本配分 (2023年度Q1)

(兆円)



各四半期の平均レート等により円換算
 手元流動性: 現金及び現金同等物+流動資産に含まれる短期投資+コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース(SB Northstarを除く。ただし同社の現金及び現金同等物は含む)
 SBG単体: 連結グループから独立採算子会社を除いたベース。独立採算子会社は、ソフトバンク、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等
 資金化: SVF1からの分配(+ \$0.2B)、SVF2からの分配(+ \$12M)、LatAmファンドからの分配(+ \$30M)、アリババ株式を活用した株式先渡売買契約(+ \$4.4B)、子会社の支配喪失による収入(+ \$0.7B)
 資金調達: SBG社債発行(+ ¥220.0B)、SBGハイブリッドローン調達(+ ¥53.1B)
 投資: SVFへの拠出額合計(- \$0.9B)、その他の投資(- \$0.9B)
 資金調達額は、SBGが償還した社債および期中に買い入れた社債(¥153.0B)と、SBGが期中に返済した借入金等をネットして記載

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2023年6月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Alibaba (アリババ): SBGの保有株式数に相当する米国預託証券 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- SBKK: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
- LatAm Funds: LatAm Fundsの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) + (b) - (c) - (d)
 - (a) SBGの保有株式数(ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象株式数(2023年6月末時点: 34,971,809株)を含む) × 同社株価
 - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式(48,751,557株)を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
 - (c) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (d) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- Arm(アーム): SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値 × SBG保有割合(発行済株式総数の約75%) - SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額
- その他: (e) + (f) + (g)
 - (e) 上場株式: SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
 - (f) 非上場株式: SBGが保有する非上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (g) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出。なおSB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債はSBGの純有利子負債と見なして扱い、同社NAVの算出には含まない。同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2023年6月末においていずれもゼロ。

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: SBKK(Zホールディングス株式会社及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAm Funds及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
 - なお、SB Northstarの現金及び現金同等物ならびにマージンローンおよびプライムブローカレッジローン以外の有利子負債をSBGの純有利子負債に含める。同社のマージンローンおよびプライムブローカレッジローンの残高は、2023年6月末においていずれもゼロ。
- その他調整: 以下の(h)~(q)の調整額の合計
 - (h) 2017年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算(2023年7月の初回任意償還日に償還したノンコール6年永久ハイブリッド債は100%加算)
 - (i) 2017年11月発行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (j) 2021年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (k) 2023年4月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上全額が有利子負債に計上されているため、50%を有利子負債から控除
 - (l) 2023年5月発行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上全額が有利子負債に計上されているため、50%を有利子負債から控除
 - (m) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (n) SBKK株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (o) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (p) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (q) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2023年6月30日終値
- 為替: 1ドル = 144.99円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm Funds = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2023年3月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Alibaba (アリババ): SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数 × 同証券の株価 - アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- SBKK: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
- LatAm Funds: LatAm Fundsの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- Tモバイル: (a) + (b) + (c) - (d) - (e)
 - (a) SBGの保有株式数(ドイツテレコムが有する株式購入オプションの対象株式数(2023年3月末時点: 34,971,809株)を含む) × 同社株価
 - (b) 一定の条件下でSBGがTモバイル株式(48,751,557株)を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
 - (c) 2020年6月にTモバイルによる現金強制転換証券(Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities)を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
 - (d) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
 - (e) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- Arm(アーム): SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値 × SBG保有割合(発行済株式総数の約75%) - SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額
- その他: (f) + (g) + (h)
 - (f) 上場株式: SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
 - (g) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
 - (h) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行株式会社の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: SBKK(Zホールディングス株式会社及びPayPay株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、LatAm Funds及びアーム等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(i)~(q)の調整額の合計
 - (i) 2016年9月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (j) 2017年7月発行 ドル建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
 - (k) 2017年11月発行 円建てハイブリッドローン: 連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (l) 2021年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債: 連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
 - (m) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (n) SBKK株式を活用したマージンローンの負債残高相当額等を控除
 - (o) Tモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
 - (p) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
 - (q) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2023年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 133.53円

- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm Funds = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、Tモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

NAV・LTVの定義及び算出方法 (2022年3月末時点)

1. NAV (Net Asset Value: 時価純資産)

- NAV = 保有株式 - 純負債

2. 保有株式(保有株式価値、アセットバック・ファイナンス調整後)

- Alibaba (アリババ): SBGの保有株式数に相当する米国預託証券 × 同証券の株価 - (a) - (b)
- (a) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド)のうち、未決済分の満期決済金額(同社株価で算出)の合計額
- (b) アリババ株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SBKK: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したマージンローンの負債残高相当額
- SVF1: SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
- SVF2: SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
- LatAm Funds: LatAm Fundsの保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額
- TMモバイル: 下記の(c)~(e)の合計から(f)~(h)を控除
- (c) SBGの保有株式数(ドイツテレコムが有する株式購入オプションの対象株式数(2022年3月末時点:56,124,954株を含む) × 同社株価
- (d) 一定の条件下でSBGがTMモバイル株式(48,751,557株)を無償で取得できる権利(条件付対価)の公正価値
- (e) 2020年6月にTMモバイルによる現金強制転換証券(Cash Mandatory Exchangeable Trust Securities)を発行する信託へのTMモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTMモバイル株式を取得できる権利の公正価値
- (f) ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債の金額
- (g) TMモバイル株式を活用したマージンローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額(TMモバイル株式を活用した借入(借入総額\$2.06bn)については、例外的にSBGが一部保証しているため、当該保証債務の上限枠(\$0.57bn)を控除した\$1.49bnをノンリコースのアセットバック・ファイナンスによる借入額としています。なお、SBGが当該保証を履行する前提条件として、金融機関はまず当該借入の担保に供されているアリババ株式から最大限回収を図ることが義務付けられている)
- (h) TMモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)の満期決済金額(同社株価で算出)
- ドイツテレコム: SBGの保有株式数 × 同社株価 - 同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額
- Arm(アーム): SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値 × SBG保有割合(発行済株式総数の約75%) - SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額
- その他: 以下(i)~(k)の合計
- (i) 上場株式: SBGの保有株式数に各上場株式の株価を乗じて算出
- (j) 非上場株式: SBGが保有する未上場株式等の公正価値(公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価)に基づいて算出
- (k) SB Northstar: SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分に、SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数に同社株価を乗じた価値を加算して算出

3. 純負債(アセットバック・ファイナンス調整後)

- 純負債 = SBGの純有利子負債
- SBGの純有利子負債 = 連結純有利子負債 - 独立採算子会社等の純有利子負債 - その他調整
- 連結純有利子負債にはPayPay銀行の銀行業の預金及び手元流動性を含まない
- 独立採算子会社等の純有利子負債: SBKK(Zホールディングス株式会社をはじめとする子会社を含む)、SVF1、SVF2、ラテンアメリカ・ファンド、アーム、PayPay株式会社等の独立採算子会社、ならびにSB Northstarの有利子負債合計から現預金等合計を減算
- その他調整: 以下の(l)~(v)の調整額の合計
- (l) 2016年9月発行 円建てハイブリッド債:連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
- (m) 2017年7月発行ドル建てハイブリッド債:連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に加算
- (n) 2017年11月発行 円建てハイブリッドローン:連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
- (o) 2021年2月及び6月発行 円建てハイブリッド債:連結会計上、全額が有利子負債に計上されているため50%を有利子負債から控除
- (p) アリババ株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
- (q) アリババ株式を活用した複数の先渡売買契約(フロア契約・カラー契約・フォワード契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
- (r) SBKK株式を活用したマージンローンの負債残高相当額を控除
- (s) TMモバイル株式を活用したマージンローンの借入総額のうち、ノンリコースのアセットバック・ファイナンスとしている金額を控除(上記2.(g)参照)
- (t) TMモバイル株式を活用した先渡売買契約(カラー契約)に係る株式先渡契約金融負債を控除
- (u) ドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額を控除
- (v) アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額を控除

4. LTV (純負債/保有株式)

- LTV = 純負債 ÷ 保有株式

5. その他

- 株価: 2022年3月31日終値
- 為替: 1ドル = 122.39円
- SBG = ソフトバンクグループ株式会社、アリババ = Alibaba Group Holding Limited、SBKK = ソフトバンク株式会社、SVF1 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド1、SVF2 = ソフトバンク・ビジョン・ファンド2、LatAm Funds = ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンド、TMモバイル = T-Mobile US, Inc.、ドイツテレコム = Deutsche Telekom AG、アーム = Arm Limited
- 別段記載のない限り税金考慮前
- 当社の想定であり、SBGの普通株式を含むいかなる有価証券の価値や投資判断を示唆するものではありません。

SVF1 公開株投資先 (2023年6月末時点)

(\$ M)	(a) 投資額 *1	(b) 時価 *2 (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 *3	
	Coupang	2,729	10,798	8,069	4.0x
	Doordash	680	7,486	6,806	11.0x
全持分売却済	NVIDIA	2,878	5,813	2,936	2.0x
全持分売却済	Guardant Health	308	2,665	2,358	8.7x
全持分売却済	Uber	7,666	9,215	1,549	1.2x
全持分売却済	Slack	334	1,018	684	3.0x
全持分売却済	Ping An Good Doctor	400	828	428	2.1x
	Vir Biotechnology	199	579	380	2.9x
全持分売却済	Opendoor	450	824	374	1.8x
	PolicyBazaar	199	572	373	2.9x
全持分売却済	10x Genomics	31	338	307	10.9x
	Delhivery	397	656	259	1.7x
	Relay Therapeutics	300	350	50	1.2x
	Roivant (Listed Portion Only) *4	919	954	35	1.0x
	Energy Vault	60	51	-9	0.8x
	Zomato	309	263	-46	0.8x
	GoTo (Gojek Tokopedia) *5	841	756	-85	0.9x
	SenseTime	1,429	1,344	-85	0.9x
	OneConnect	100	4	-96	0.04x
全持分売却済	ZhongAn	550	400	-150	0.7x
	Aurora Innovation	333	116	-217	0.3x
	Auto1	741	455	-287	0.6x
	Paytm	1,600	1,265	-335	0.8x
	Getaround	348	8	-340	0.02x
	Ginkgo Bioworks (Previously Zymergen)	404	45	-359	0.1x
	Full Truck Alliance	1,700	1,280	-420	0.8x
	Grab	2,993	2,398	-595	0.8x
	Compass	1,082	466	-616	0.4x
	View	1,175	8	-1,167	0.01x
	WeWork *6	3,468	23	-3,445	0.01x
	DiDi	12,073	2,905	-9,168	0.2x
(A)	公開株式 合計 (グロス) *7	\$46,697 (6.8兆円)	\$53,883 (7.8兆円)	+\$7,185 (+1.0兆円)	1.2x
(B)	未公開株式等	\$40,916	\$46,120	+\$5,204	
(A)+(B)	Vision Fund 1 合計(SBG目線)	\$87,613	\$100,003	+\$12,389	

1. 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料(純額)の合計
2. 時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2023年6月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前
3. 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出する必要があるため未掲載
4. Roivant: SVF1の公開株の投資額からはRoivantの上場前(2020年3月)に実現した\$116Mを除外
5. GoTo: SVF1の公開株の投資額には、Gojekとの合併前のTokopediaへの投資を反映しており、GoTo上場前に実現した\$7Mを除外
6. WeWork: SVF1の公開株の投資額(\$3,468M)には、WeWork Asia Holding Company B.V.("WeWork Asia")への投資額(\$400M)が含まれる。WeWork Asia株式は1株当たり\$11.60で2020年4月にWeWork優先株式に交換
7. 公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているDiDiへの投資を含む。
SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。NVIDIAのヘッジ取引に係るデリバティブ損益等を含む。SBGからSVF1への移管が決定されていたものの実行されなかった投資について、移管の取りやめを決定するまでの期間に発生した未実現評価損益は含まない。
累計投資パフォーマンスを純額で表示
SVF1に対するSBGからの累計支払額(純額)(Net-Paid-in capital) = \$27.7B、SBGに帰属する価値合計(Total Value) = \$29.0B。詳細は「2024年3月期 第1四半期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照

SVF2 公開株投資先 (2023年6月末時点)

(\$ M)		(a) 投資額 ^{*1}	(b) 時価 ^{*2} (グロス)	(c) = (b) - (a) 損益 (グロス)	(d) = (b) / (a) 倍率 ^{*3}
	全持分売却済				
	Beike	1,350	2,497	1,147	1.8x
	Symbotic	200	856	656	4.3x
	AutoStore	2,800	2,876	76	1.0x
	IonQ	61	83	22	1.4x
	全持分売却済				
	Qualtrics ^{*4}	24	15	-9	0.6x
	Berkshire Grey ^{*5}	115	92	-23	0.8x
	Alnovation	126	94	-32	0.7x
	Pear Therapeutics	46	0	-46	0.002x
	Beisen	100	46	-54	0.5x
	Full Truck Alliance	250	149	-101	0.6x
	Zhangmen	105	0	-105	0.002x
	Exscientia	284	112	-172	0.4x
	Seer	205	22	-183	0.1x
	DingDong Mai Cai	325	43	-282	0.1x
	JD Logistics	601	190	-410	0.3x
	WeWork	3,033	379	-2,654	0.1x
(A)	公開株式 合計(グロス) ^{*6}	\$9,624 (1.4兆円)	\$7,454 (1.1兆円)	-\$2,170 (-0.3兆円)	0.8x
(B)	未公開株式等	\$42,173	\$25,751	-\$16,423	
(A)+(B)	Vision Fund 2 合計(SBG目線)	\$51,797	\$33,205	-\$18,593	

- 投資額: 投資関連の資金調達を含む投資目的の全ての外部キャッシュフローと投資関連のヘッジに支払われたオプション料(純額)の合計
- 時価(グロス): 投資とそれに関連するヘッジから生じる全ての外部キャッシュフローと2023年6月末時点における未実現有価証券の公正価値の合計。税金、投資関連の資金調達及びその他のファンド関連の負債等考慮前。
- 倍率: Gross multiples of invested capital (Gross MOIC)。時価(グロス)を投資額で除して算出。純額ベースの銘柄別の投資成果は、報酬及び費用の配分について仮定を置いて算出するため掲載していない。
- 2023年6月28日に上場廃止
- 2023年7月20日に上場廃止。なお、2023年7月にSBGが同社の全株式を取得済み
- 公開株式 合計(グロス): 公開株式には店頭市場で取引されているZhangmenおよびPear Therapeuticsへの投資を含む。

SBG目線: ソフトバンク・ビジョン・ファンド事業のセグメントベース。累計投資パフォーマンスを純額で表示。

SVF2に対するSBGからの累計支払額(純額)(Net-Paid-in capital) = \$51.1B、SBGに帰属する価値合計(Total Value) = \$32.5B。詳細は「2024年3月期 第1四半期決算 投資家向け説明会資料 SoftBank Vision & LatAm Funds」を参照